

事 業 計 画 書



I 平成29年度基本方針

当財団は公益財団法人として、豊田市における文化及び芸術の振興、青少年の健全な育成の推進及び生涯学習の推進に関する事業を行い、もって創造性豊かで潤いと活力に満ちた市民生活の実現に寄与することを目的としております。

平成29年度は、当財団が新たに掲げる「第2次公益経営戦略ビジョン」に示した取り組みの初年度となります。このビジョンは、同じく平成29年度を初年度とする第8次豊田市総合計画において市が目指す新たなまちづくりと方向性を合わせたものとし、まちづくりのベストパートナーとして「子どもから高齢者までがいきいきと活躍する中で、学び合い、育ち合い、助け合うつながりをもち、暮らしを楽しんでいる」状態を目指して策定しています。

文化、芸術面においてはその力を活用した人づくり、まちづくりへの取組み。青少年育成の面では子どもたちの様々な体験機会の減少対策や若者のまちづくりへの参画。生涯学習の面では学習を基礎とした更なる活躍を支援する仕組みの構築。新ビジョンではこれらの課題への対応を示すとともに、私共財団は3つの分野の事業の連係により、さらに効果を高めることができることを強みとして、**豊田市の目指すまちづくりに貢献できる存在でなければならない**と考えています。

さて、最近の経済状況は多少の改善傾向はみられるものの引き続き厳しい情勢となることを想定せざるを得ず、事業運営においても今まで以上に経営感覚を持って取り組まなくてはなりません。平成29年度は以下に掲げる基本方針に基づき、豊田市が掲げる「つながる つくる 暮らし楽しむまち・とよた」の実現にむけて役職員一丸となって公益の担い手としての責任を果たすべく、努力を重ねてまいります。

1 市民文化の推進

- 「豊田市文化芸術振興計画」は、今年度が計画期間の最終年度となります。その基本理念「ふるさとの文化を継承し 新たな文化を創造して 人が輝き誇りがもてるまちづくりをめざします」を指針に、文化・芸術と出会う機会の充実、文化・芸術活動の機会の提供、文化振興を担う人材の育成・活用に重点を置き、事業を実施します。
- コンサートホールでは、姉妹都市・米国デトロイトから19年ぶり2度目の来日となる名門「デトロイト交響楽団」、膨大な録音実績を誇るスウェーデンの巨匠オルガニスト「ハンス=オラ・エリクソン オルガン・リサイタル」、名門パリ管弦楽団の首席プラス奏者による「パリ管弦楽団プラス・クインテット」、歌・フラダンス・ウクレレなど本場ハワイの民族芸能の祭典「世界音楽の旅シリーズ ハワイアン」、結成50年の歴史をもつアメリカが世界に誇る名合唱団「ロジェー・ワーグナー合唱団」、チャップリンの名作無声映画とオーケストラの饗宴「京都市交響楽団オーケストラ・ライブ・シネマ」など、ホールの特性を活かした質が高く親しみやすいコンサートを開催します。

能楽堂では、女性能楽師による能「蟬丸」と平野啓子の語り「今昔物語」で上演する「織姫能」、浪曲・甚句・八木節で有名物語を聴く「もの語りの唄」、日本の芸能の源流である「声明」、桜の花をテーマにした「新春能」、見応えのある名曲「船弁慶」を開催します。また、一部の公演には事前講座とイヤホンガイドを実施して初心者でも楽しめる工夫をしつつ、個性ある魅力的な事業を行います。

好評の招聘アーティストと能楽師による市内小中学校等への「アウトリーチ事業」は、豊田市出身アーティストによる母校への訪問をはじめ、60分ワンコイン・コンサート「かーるくラシック」の出演者を中心に対応します。北街区に建設中のシネマコンプレックスとの連携として、オープン前に、吹奏楽やパイプオルガンによる「映画音楽コンサート」を開催するなど、幅広い年代の市民が楽しめる機会を提供します。

- 市民文化会館では、「玉置浩二コンサートツアー 2017」、「アニソン BIG3 スーパーライブ」などの新規顧客開拓につながる事業や、さらには良質な伝統芸能に親しむ機会として「とよた寄席」などの鑑賞事業をバランスよく提供します。その他、他の部署と連携協力し、より充実した事業展開を図る「文化講演会」などの事業に取り組みます。
- 文化事業課では、文化芸術にふれる機会として昨年度に引き続き、ジャンルや参加世代の幅を広げ、新たな出会いを創出する「おいでんアート体験フェア」を開催するとともに、「豊田市少年少女合唱団」、「豊田市ジュニアマーチングバンド」の運営と、子どもたちの感性を育む事業として小中学校を対象に実施する「文化活動者派遣事業」をさらなる発展を目指して継続します。

また、演劇を通して創造力や表現力を培う「とよたこども創造劇場」、地域文化・舞台芸術分野の人材育成を目指す「とよた演劇アカデミー」、新たに良質な演劇公演と交流の場を提供する「珠玉の短編シリーズ」など、演劇事業を体系的に展開します。

さらに、地域の文化資源である農村舞台を活用した「農村舞台アートプロジェクト 2017」の開催とともに、今春開館する「歌舞伎伝承館」では、ワークショップを中心とした事業展開等、郷土の誇りと愛着を育み、地域の魅力を発信する事業を実施します。

その他に、全国からの注目を集める「第 88 期将棋棋聖戦第 2 局」、「第 56 回全日本かるた選手権大会」など様々な事業に取り組みます。

2 青少年健全育成の推進

- 青少年センターでは、「学生とハタラクをつなぐプロジェクト」、「若者の考える未来」、「学生まちづくり提案支援事業」など若者を取り巻く環境の変化に対応した事業に取り組み、まちづくり提案やボランティア活動など、社会活動の機会を提供し、学生との連携強化に努めます。また、青少年課題である「ひきこもり」や「未婚・晩婚化」に対応した事業も実施します。
そのほか「子ども会事務支援」、「豊田市青少年団体傷害互助会事業」、「レクリエーション団体指導者派遣」を実施し、地域における青少年育成団体の活動を支援します。
- 総合野外センターでは、「山の子学級」、「六所のつどい」、「チャレンジキャンプ」などの野外活動を通じて、思いやりや協調性を育みます。また、「サバイバル防災キャンプ」「親子自然体験塾」「ファミリーキャンプ」などの親子ふれあい体験活動を通して、家族間交流の機会を提供し、家族の絆を強めるとともに、心身共に健全な青少年の育成を図ります。また、大学生の社会参加を支援する事業として、大学生が企画運営する「キッズ・キャンプ」を実施し、青年指導者の育成に取り組みます。
- 産業文化センター（とよた科学体験館）では、交流館との共催により「とよた小中学生天文クイズ大会」を全市的に開催し、青少年の天文に対する知的好奇心を高めます。また、中学・高校の科学部の活動を支援する「サイエンススクール」の中で「サイエンスショーコンテスト」を実施し、成果発表の機会と交流の場を提供します。また、天体観測や科学・ものづくりのアウトリーチ事業

の内容を充実させ、交流館や小学校・放課後児童クラブなどの団体と連携し、市民ニーズに即した事業展開に取り組みます。

- 放課後児童クラブ（飯野地区子どもの居場所づくりも含む）では、従来の運営に加えて当財団の強みである「文化芸術振興」、「青少年育成やレクリエーション」、「科学体験やものづくり」、「地域の人材資源活用」などのノウハウを活用し、子どもたちにさまざまな事業や体験活動を提供します。

3 生涯学習活動の推進と地域活動の支援

- 豊田市の交流館運営基本方針に掲げる「地域づくりへの柔軟な支援」を推進するため、コミュニティ会議、自治区、地域会議、民間事業者などと連携するとともに、他の財団施設や財団加盟団体（文化団体、青少年団体）などのもつ専門的知識や経験を活かすことで、市民が主体的に継続して地域活動を行うための核となる人材の育成と、地域の人と人をつなげ地域活動の輪を育てることを目的とした事業を行います。
- 各交流館が核となり、地域の人材とニーズを結びつけることができるよう、コミュニティ会議、学校、各種団体、民間事業者などと連携して、地域情報の収集と発信を行い、幅広い世代の地域活動の輪とネットワークを広げ、**地域力の向上**を目指します。
- 平成27年度から取り組んでいる「地域カルテ」の充実を図り、「人・もの・場所」をつなぐコードィネートに具体的に活用できるように継続的な更新、積み上げを行い、「地域の特性」「地域の現状・課題」「目指す地域の姿」「事業のねらい」を明確化することで、地域の実情にあった事業を展開します。
- 中学校文化部との連携をはじめ、**中学生の交流館利用の機会**を創出し、地域で活動するきっかけ作りに継続的に取り組むとともに、新たな視点での事業企画や、柔軟な施設運営で「開かれた交流館」をアピールし、利用者の裾野の拡大を目指します。さらに、「夜間講座の充実」など交流館を身近に感じてもらうことで、新たな連携や、新たな地域活動の担い手の育成につなげます。
- 民間事業者の活用による交流館事業の活性化と利用制限緩和に向けた取り組みを行うモデル館2館（猿投台交流館及び松平交流館）の取り組みの総括を行います。
その他の館は、現行ルールの中で、**民間事業者との連携**に積極的に取り組み、利用の拡大につとめるとともに連携のあり方や**民間事業者のニーズ**を探ります。
- ロビーやフリースペースでの掲示方法の工夫や発表・交流の場の提供などを積極的に行い、地域住民同士のつながりを広げる場を作ります。
特に地域住民が自由に参加できるカフェやミニコンサート、季節のイベントなどを実施し、**地域住民同士が交流する機会**を増やします。
- ホームページを活かすため「お知らせ」のページをさらに活用し、事業情報はもとより、施設の安全安心（訓練・修繕・備品更新など）情報も加え、最新情報をタイムリーに提供します。また、各種情報発信ツール（ちらし、館報、広報とよた、報道機関、まなびん、フリーペーパー、掲示板、リンクなど）の特性を活かして、**幅広い世代**に向けた**情報を発信**します。
- 住民同士のふれあいと交流により地域の**絆**の大切さを深め、地域力を引き出すため、コミュニティ会議や地域で活動する団体などと共に「**生涯学習フェスティバル 交流館祭・ふれあいまつり**」を開催します。

- 平成30年度から**交流館をより市民の活躍を支援する施設とする**ため、入念な準備をしてまいります。職員として交流館に求められる役割を正しく理解し、地域住民や利用者への理解と周知を図り、交流館が地域の拠点としてこれまで以上に活用される施設になるように努めます。また併せて、各地域の特性や施設の状況に応じた利用方法の多様化を検討して参ります。

4 自律した財団経営の推進

- 「人財育成プラン」に基づき、専門性を磨くとともに、財団職員として必要な人と人、人とまちを「つなぐ」スキルの高い人材を育てます。また、一般財団法人地域創造及び豊田市への**職員長期派遣研修**を継続します。
- 職員行動規範「輝くぶんしん職員の心得10か条」の実践による市民サービスの向上を図ります。
- 再任用及び再雇用制度によるベテラン職員の処遇を見据えて、その知識・経験が発揮できる組織環境の整備を図ります。
- 賛助会員の継続や新規加入による支援者の拡大を目指すとともに、文化情報誌やホームページへの広告掲載拡大、新たな自販機設置施設の検討、豊田市以外からの助成金や補助金獲得に向けての情報収集と応募など、金利低下による運用益の更なる減少を見据えた新たな**自己財源の獲得**を目指します。

II 平成29年度事業計画

【1 文化施設等を活用して、市民が文化・芸術に 触れる機会と場を提供する事業：定款第4条第1号事業】

音楽専門ホールを始めとする文化施設等を活用し、文化・芸術の振興を図るため、舞台芸術を中心とした自主公演や、芸術分野（絵画、書、写真、工芸等）における作品の展示会を実施することで、市民の方々に文化・芸術に直接触れる機会と場を提供し、質の高い文化・芸術の創造と発信、普及を図ります。

（1）文化・芸術に触れる機会を提供する事業

主な事業

ア 農村舞台アートプロジェクト2017（文化事業課）

全国的にも例のない地域の文化資源を活用した、地域発信のアートプロジェクトとして、農村舞台を活用した取り組みを実施します。平成29年度は、農村舞台を「劇場」として活用する「ライブ」、全国公募のアーティストによる周りの風景（空間）と一体化する「アート（展示）」を地域住民と共に開催し、地域の再生と活性化を図ります。

イ 豊田芸術選奨受賞記念 森木明洋画展（文化事業課）

芸術に触れ合う機会として、平成27年度豊田芸術選奨を受賞された洋画家の森木明氏の芸術を広く市民の方々に紹介します。

ウ とよたこども創造劇場（文化事業課）

市内の小中学生50名を対象に演劇の持つ力に触れ、活用し、全員が舞台に立つ演劇公演を実施します。豊かな創造力や表現力を養い、将来にわたって必要な社会性を培い、未来を担う人材育成を目指します。

エ こどもによる日本の伝統芸能（文化事業課）

地域や小中学校で日本の伝統芸能を学ぶ子どもたちを集め発表する機会を提供することで、後世への伝統芸能の継承と人材育成を目指します。

オ 玉置浩二コンサートツアー2017、アニソンBIG3スーパーライブ（市民文化会館）

類まれな音楽性と歌唱力を兼ね備えた玉置浩二のソロライブ、日本を代表する文化のひとつとなったアニメソング界のレジェンド3人によるスーパーライブを開催することによって、多くの市民がその楽しさや感動を身近に体感する機会を提供します。

カ デトロイト交響楽団（コンサートホール・能楽堂）

豊田市の姉妹都市・米国デトロイトから1914年設立の名門オーケストラが19年ぶり2度目の来日。指揮者レナード・スラットキン、ソリストに人気ピアニスト小曾根真を迎え、オール・アメリカン・プログラムで開催します。

キ 能・狂言 織姫能（コンサートホール・能楽堂）

女性能樂師・鶴沢光（観世流）と大島衣恵（喜多流）らをはじめ、女性を中心に構成した能「蟬丸」の上演と同じく女流かたりすと平野啓子による「今昔物語」の語りによる華やかな舞台を提供します。

【2 文化・芸術に関する講座の開催等、文化・芸術に関する知識及び技能の習得を図る事業：定款第4条第2号事業】

文化・芸術に関する分野の人材を育成するため、受講者や参加者を募り、講座、体験活動及び競技会を通して、文化・芸術に関する知識・技能の習得を図る事業を実施します。

(1) 文化・芸術に関する専門知識・技能の習得を目的とした講座を行う事業

主な事業

ア 第8期将棋棋聖戦第2局（文化事業課）

全国からの注目度が高いプロ棋士による将棋対局を通して、出会いと交流の場の創出と文化の振興を目的とし、対局の様子や解説を見聞することで知識・技能の習得を図ります。

イ 舞台芸術人材育成事業 とよた演劇アカデミー（文化事業課）

総合舞台芸術である演劇を通して、演出、プロデュース、広報など舞台制作一般を学ぶ機会を提供し、若者世代の文化振興と地域における文化・芸術ボランティアの中核となる人材育成を図ります。

ウ 「みんなで歌おう懐かしい歌を」（コンサートホール・能楽堂）

のど自慢の司会でお馴染みの元NHKアナウンサー徳田章氏をゲストに迎えて、のど自慢で人気の高い歌やエピソードを聴き、会場の皆さんと一緒に歌う聴衆参加型講座を開催します。

エ 能狂言が見たくなる講座（コンサートホール・能楽堂）

能狂言に関連した周辺分野から講師を迎えて、様々な角度から能狂言の楽しみ方を話していただく講座。初めて見る人も、さらにもっと楽しみたい方にも興味深い内容で、能狂言に対する関心を高めます。

(2) 文化・芸術の様々な技能の習得を目標とした体験活動を行う事業

主な事業

ア 文化活動者派遣事業（文化事業課）

市内の小中学校を対象に、日本の伝統的な和楽器、日本舞踊、音楽、演劇、美術などの活動者を派遣し、芸術を鑑賞したり、実際に体験したりすることで、日本の伝統文化や芸術に対する理解を深め、伝統文化や芸術の良さを見直す機会を提供します。また活動者と小中学校の活動を円滑に行えるよう、コーディネーターとして双方のサポートを丁寧に行います。

イ おいでんアート体験フェア（文化事業課）

市内を中心に活躍する文化団体及び文化活動家（アーティスト）を講師に迎え、市民が気軽に文化芸術に参加できるアート体験をワークショップ形式で運営し、世代を超えて、文化活動

に出会う機会とすることで、市民、文化活動者それぞれが、将来にわたり活躍できるための場を提供します。

ウ こども茶華道教室（文化事業課）

市内の中学生を対象として、茶華道の基本を学び日本の伝統文化、礼儀作法を体験習得し、学んだことを市民の皆様へ成果発表します。

エ パイプオルガンを楽しむための講座（コンサートホール・能楽堂）

パイプオルガンへの興味を深め、より楽しんでもらうため、映像や演奏を交えた3回シリーズの講座を開催します。

（3）文化・芸術に関する技術・技能の習得を目的とした競技会を行う事業

主な事業

ア 第56回全日本かるた選手権大会（文化事業課）

（一社）全日本かるた協会と共に、日本三大かるた競技大会のひとつである競技会を開催します。強豪が一堂に会する大会を豊田の地で開催することで、かるた競技の技能とかるた文化を市民が身近に感じることができる機会を提供します。

イ 第13回とよたふれあい将棋フェスティバル（文化事業課）

子ども対象の将棋大会のほか、親子で参加できる将棋指導対局や将棋の基本を学べる将棋ふれあいコーナー等を通じ、技術・技能の習得と親子のふれあいの機会を提供します。

ウ 第38回とよた囲碁まつり（文化事業課）

市内の愛好家が集う囲碁の祭典として、大人、子どもを対象とした囲碁大会やプロ棋士による指導碁、基礎から囲碁を学べる入門講座、大会優勝者とプロ棋士による公開囲碁対局を通じて、技能の習得と市民の交流を図る機会を提供します。

【3 文化・芸術の振興に関する表彰、 助成等を行う事業：定款第4条第3号事業】

地域住民の主体的、創造的な文化・芸術活動を支援・奨励するため、文化・芸術の振興に功績のあつた個人や団体を表彰します。また、コンクールを実施し個々の文化活動の促進を図り、さまざまな文化団体等への助成を行うことによって団体の活動の活性化を図ります。

(1) 地域住民の主体的、創造的な芸術活動を支援・奨励するため表彰を行う事業

主な事業

平成29年度財団大会（文化事業課）

地域の文化振興に業績を挙げた功労者を表彰し、主体的、創造的な文化・芸術活動を支援・奨励します。

(2) 地域住民の主体的、創造的な芸術活動を支援・奨励するためコンクールを行う事業

主な事業

第25回とよたフォトドキュメント2017（文化事業課）

豊田市内の出来事や市民の生活・風習を捉えた写真を募集し、展示会を開催することにより、故郷を見直す機会の提供と後世に伝えていきたい今の豊田市の姿を記録します。

(3) 地域住民の主体的、創造的な芸術活動を支援・奨励するため助成を行う事業

主な事業

助成事業（文化事業課）

文化団体や市民の活動を、事業の後援や広くPRするなど、様々な角度からサポートすることで、団体の自立と活性化を推進し、文化による地域づくりを進めます。

また、文化交流の促進や、担い手の育成、体験などの市民参加事業に対し、予算的支援を実施します。

【4 地域文化に関する調査及び情報の提供を行う事業：定款第4条第4号事業】

地域文化に係る調査・資料収集を行い、その情報を広く市民の方々に提供し、もって地域文化の保存、伝承及び普及を図ります。

（1）地域文化の保存、伝承及び普及を図るための調査、資料収集を行う事業

主な事業

とよだ定点観測（視聴覚ライブラリー）

毎年4月1日に豊田市駅周辺の定められた場所でのビデオ撮影や年間を通じて豊田市全域の定められた場所で写真撮影をし、街並みや自然、人々の生活を捉え、継続的なデータ保存を行います。

また、今までに保存してきたデータを、市民の皆さんに見ていただく機会を提供するため、ロビー展を開催します。

（2）地域文化の保存、伝承及び普及を図るための情報の提供を行う事業

主な事業

ア 文化情報誌「カレント」発行（文化事業課）

市内の文化情報を網羅した情報誌を年4回発行し、地域の文化・芸術情報の提供を行います。発行部数を確保し市民に広く情報提供するため広告掲載を継続します。また、さらなる情報収集などにより、分かりやすく、かつ充実した紙面作りに努めます。

イ CATV文化情報番組制作「豊田文化アワー」（文化事業課）

地域文化を市民サイドから考える文化情報番組を制作し、ひまわりネットワークで放映します。地域住民へ地域文化の保存、伝承及び普及を図るための情報の提供を行うとともに、財団が主催する事業をPRします。

【5 青少年育成施設等を活用して、青少年の社会性と豊かな情操を養う機会と場を提供する事業：定款第4条第5号事業】

子どもたちを取り巻く社会環境が大きく変化するなか、青少年の健全な育成を図るためにには、家庭、学校、地域社会が連携を密にし、子どもたちの自立と社会参加を促す努力を重ねることが求められています。青少年育成施設等を活用して青少年の健やかな成長を育むため、様々な体験活動を実施し、併せて自立支援・相談体制を強化し、青少年の社会性と豊かな情操を養う機会と場を提供します。

（1）青少年の健全育成を図るための機会の提供を行う事業

主な事業

ア 学生とハタラクをつなぐプロジェクト（青少年センター）

大学生とハタラク職場をつなぎ、魅力的な職場の発見や働くことの意義、価値観について学ぶきっかけとなる事業を実施し、学生を支援します。

イ 高校生ボランティアスクール（青少年センター）

保育・福祉・レクリエーション・ものづくりの4コースのボランティア体験活動を提供し、他者への思いやりと自ら行動できる青少年を育成します。

ウ 親子自然体験塾（総合野外センター）

里山での自然観察や山林資源を活用する薪作り等の体験活動を通して、生命の大切さやエネルギーの循環を学ぶとともに、親子のきずなを深めます。

エ 六所のつどい・山の子学級・チャレンジキャンプ（総合野外センター）

集団での野外活動体験を通して、自然のすばらしさを知るとともに、仲間づくりや協力することの意義を学び、子どもたちの社会性や豊かな人間性の育成を図ります。

オ 天文・サイエンス・ものづくり事業（産業文化センター）

プラネタリウム事業では、生解説のオリジナル番組「星空散歩」をはじめ、様々な音楽を盛り込んだ「プラネタリウムコンサート」などを実施します。サイエンス事業では、子どもたちの科学に対する芽を養う「サイエンスクラブ」「アストロクラブ」や「サイエンススクール」を実施します。ものづくり事業では、自動車のまちを意識した「キッズ・モノづくりワンドーム」や身近な素材を活かした「ワークショップ」などを積極的に開催します。

カ 喜楽亭「喜楽講座」（産業文化センター）

大正時代の町屋建造物で、市登録文化財である喜楽亭の活用を図るため、「喜楽講座」を開催します。特に親子を対象としたワークショップを、専門家による建造物の見どころやペーパークラフト体験等をまじえ、次代を担う子どもたちに喜楽亭の歴史と魅力を伝えていきます。

キ 放課後児童クラブ運営事業（北東部ブロック）

放課後児童クラブでは、通常運営に付加して、学校では学ばない科学体験（天文・サイエンス）の事業ノウハウを提供し、児童の知的好奇心を高め、創造性を育む事業を実施します。また、長期休暇時には、野外活動（野外炊事、アウトドアゲーム等）やものづくり（クラフト工作）などの事業を実施し、自活力、コミュニケーション力や創造力の育成を図ります。平成29年度より新たに御蔵小学校地区でのクラブ運営を開始します。

【6 青少年音楽団体の運営及び青少年団体に対する助言

その他の支援を行う事業：定款第4条第6号事業】

青少年の健やかな成長を育むため、少年少女合唱団、ジュニアマーチングバンド、ジュニアオーケストラ、子ども会、ボイスカウト、ガールスカウトなどの青少年団体の運営を側面的に支援し活動の活性化をサポートします。

(1) 音楽活動を通じて青少年の情操教育を図る事業

主な事業

豊田市青少年音楽活動実施事業

音楽3団体の活動を企画運営し、演奏活動を通して青少年の豊かな情操を養うとともに、定期演奏会、各種イベント出演などを通して社会参加を果たし、豊田市の青少年の音楽活動の中核となり、音楽文化の向上に寄与します。

ア 豊田市少年少女合唱団（文化事業課）

団員が年々増加し、さらなるレベルアップを目指して演奏を披露します。定期演奏会、合唱コンクール、各種イベントへ出演し、豊かな心を育むとともに市民に親しまれ感動していただける活動を行います。

イ 豊田市ジュニアマーチングバンド（文化事業課）

定期演奏会や地域に密着したイベントなどへ積極的に参加するほか、6年連続の全国大会出場を目指し各種大会へ出場します。夏季合宿を始めとする年間90回の活動を通して、青少年の豊かな情操を養います。

ウ 豊田市ジュニアオーケストラ（コンサートホール・能楽堂）

第30回記念定期演奏会を開催するにあたり、当団名誉指揮者である尾高忠明氏を10年ぶりに迎え、パイプオルガンとの共演など充実した内容で演奏会を開催します。

また、名古屋フィルハーモニー交響楽団奏者を中心とした新指導者体制の初年度として、団員との相互の信頼関係を築き、更なる演奏技術の向上を目指します。

(2) 青少年団体の育成支援を行う事業

主な事業

ア レクリエーション団体指導者派遣事業（青少年センター）

レクリエーション団体による定例の情報交換会を開催し、子ども会の要請に対応する団体派遣の調整を行い、地域での子ども会活動を支援します。

イ 豊田市青少年団体傷害互助会事業（青少年センター）

青少年団体活動の安全確保と事故防止のため安全意識の高揚を図るとともに、不慮の事故に対して見舞金等の給付を行います。

ウ キャンプインストラクター養成講習会（総合野外センター）

（公社）日本キャンプ協会と連携して野外活動の基礎的な知識、安全や技能の実践的な講習を行い、野外活動指導者の育成を図ります。

【7 生涯学習施設を活用して、

生涯学習の機会と場を提供する事業：定款第4条第7号事業】

生涯学習施設を活用して、豊かな生涯学習社会を実現するため、幅広い年代の市民の高度で多様な学習要求や現代的課題(健康、環境、子育て、地域課題等)に対応した講座・セミナーを開催し、市民自らが主体的に関わることができる生涯学習活動の機会と場を提供します。

（1）市民に生涯学習の機会を提供する事業

主な事業

家庭教育講座、子ども・高齢者向け講座、環境・防災・防犯講座、

ボランティア養成講座等（交流館）

市民一人ひとりが自分らしく充実した社会生活を営むため、生涯にわたり、いつでもどこでも自由に学び活動できる機会を提供します。また、地域活動の拠点、地域交流の場として、地域住民がお互いにつながりを持ちながら、地域のために自らが持つ力を発揮し合う場を提供します。特に地域住民の交流機会をコーディネートし、さらに地域の特徴を活かしながら、地域の人材をつなげ、市民同士の成長を促進し、地域活動の輪を育てる取り組みや新たな利用者の開拓をめざした取り組みを進めます。

（事業数 342 件）

【8 公益目的の推進に資する事業：定款第5条事業】

豊田市では地域住民の主体的運営によるコミュニティ会議が中学校区を単位として組織され、その事務局業務は、中学校区ごとに設置されている交流館の指定管理者である当財団が担っています。地域社会の健全な発展を促すため、地域コミュニティ会議に対する相談、助言その他必要な支援を交流館で行います。

（1）地域社会の健全な発展を促すため、地域コミュニティ会議に対する相談・助言、その他必要な支援を行う事業

主な事業

地区コミュニティ会議事務局（交流館）

地域住民の住みよいまちづくりに向け、コミュニティ会議や地域で活動する団体等と共に地区コミュニティ会議の事務局として、活動の支援を行うとともに、連絡調整や情報交換を図り、地域の活性化や課題解決に結びつける事業を展開します。

（2）指定管理者として管理運営を受託した施設等を公益目的事業以外に貸与する事業

主な事業

各指定管理施設の管理運営

関係法令・条例等を遵守しつつ、市民の利益を第一優先に考えた柔軟で弾力的な施設運営を推進します。また、市民が安全で快適に利用できるよう、きめ細かな施設運営を推進するとともに、市民の立場に立ち、公平・公正な施設管理を推進します。

（3）飲料水の販売に関する事業

主な事業

自動販売機等による飲料水の販売

市民サービスの一環として、当財団が管理運営している市民文化会館、総合野外センター、産業文化センター、青少年センター、高橋運動広場、末野原運動広場、猿投コミュニティセンター体育館、上郷公園、教職員会館テニスコート、足助トレーニングセンターにおいて飲料水の販売を行います。

また、利用者ニーズへの対応と共に、販売収益を公益事業で有効活用するため、設置施設の拡大を検討します。

【9 会議】

(1) 評議員会

名 称	期日	会 場	内 容
6月定時 評議員会	6月	市民文化会館 会議室	平成28年度事業報告及び決算について 公益財団法人豊田市文化振興財団評議員の選任について 公益財団法人豊田市文化振興財団役員の選任について

(2) 理事会

名 称	期日	会 場	内 容
5月定時 理事会	5月		平成28年度事業報告及び決算について 定時評議員会の日時及び場所並びに目的である事項について ほか
6月臨時 理事会	6月	市民文化会館 会議室	公益財団法人豊田市文化振興財団理事長の選定について 公益財団法人豊田市文化振興財団副理事長の選定について 公益財団法人豊田市文化振興財団専務理事の選定について
12月臨時 理事会	12月		平成29年度補正予算について ほか
3月定時 理事会	3月		平成30年度事業計画及び収支予算について ほか

(3) 監事会

名 称	期日	会 場	内 容
監事会	5月	市民文化会館 会議室	平成28年度業務及び会計監査

(4) 表彰審査会

名 称	期日	会 場	内 容
表彰審査会	3月	市民文化会館 会議室	文化表彰・青少年表彰・特別表彰の選考について

(5) 文化振興委員会

名 称	期日	会 場	内 容
第1回 文化振興委員会	5月	市民文化会館 会議室	平成28年度事業報告について 平成29年度事業計画について 平成29年度モニタリング事業について ほか
第2回 文化振興委員会	9月		平成30年度事業計画について ほか
第3回 文化振興委員会	2月		平成29年度モニタリング事業の評価報告について 平成30年度事業計画について ほか

(6) 青少年育成委員会

名 称	期日	会 場	内 容
第1回 青少年育成 委員会	6月	青少年センター 会議室 ほか	平成28年度事業報告について 平成29年度事業計画について 平成29年度モニタリング事業について ほか
第2回 青少年育成 委員会	9月		平成29年度モニタリング事業の評価報告について 平成30年度事業計画について ほか
第3回 青少年育成 委員会	2月		平成29年度モニタリング事業の評価報告について 平成30年度事業計画について 平成30年度モニタリング事業について ほか

(7) コンサートホール・能楽堂企画運営委員会

名 称	期日	会 場	内 容
第1回 企画運営委員会	7月	コンサート ホール 多目的ルーム	平成29年度基本方針について 平成30年度事業計画について ほか
第2回 企画運営委員会	9月		平成30年度事業計画について ほか
第3回 企画運営委員会	3月		平成29年度事業報告・総括について 平成30年度事業計画について ほか

III 平成29年度事業計画の附属明細書

1 文化事業課

文化活動のコーディネーターとして、多様なニーズやライフスタイルを大切に受け止め、市民や文化団体、またはアーティストや各種団体などと連携と共ににより、子どもから高齢者まですべての世代が輝き、活躍するまち、また人や地域などが文化でつながるまちづくりの実現を目指します。

■事業

具体的には、「文化芸術にふれる機会を提供する事業」「次世代を担う子どもたちの豊かな感性を育成する事業」「市民の文化活動や交流を推進する事業」「文化芸術による地域創生を推進する事業」の4つを重点施策とし文化事業を推進します。

「おいでんアート体験フェア」は、文化芸術にふれる機会として、ジャンルや参加世代の幅を広げ、新たな出会いを創出します。「豊田市少年少女合唱団」「豊田市ジュニアマーチングバンド」の運営と、学校への「文化活動者派遣事業」は、子どもたちの感性を育成する事業として発展継続します。人材育成と交流を目指す「演劇事業」では、目的の異なる4つの事業を体系的に展開します。

事業一覧

【文化施設等を活用して、市民が文化・芸術に触れる機会と場を提供する事業】

事業名	期日	内容		事業区分
西三文協連絡協議会 県文連総会	4月・5月	その他	総会と事業計画・事業報告。 西三文協連絡協議会は幸田町。 県文連総会は名古屋市。	自主
市民ギャラリー展	5月～6月	博物館等 の展示	文化団体による作品展示を奨励 し、ギャラリーの活性化を図る作 品展を開催する。	共催
とよたこども創造劇場	5月～11月	自主公演	表現力を培う演劇により青少年の 健全育成を図るとともに、子ども による演劇公演を開催する。	共催
豊田芸術選奨受賞記念 森木明洋画展	6月	博物館等 の展示	豊田芸術選奨受賞者の芸術につい て広く市民に鑑賞の機会を提供す るために、展覧会を開催する。	自主
こどもによる日本の伝統 芸能	7月	自主公演	小中学校で日本の伝統芸能を学ぶ 子どもたちを集め発表会を行い、 後世への伝統芸能の継承を図る。	共催
とよた演劇祭	7月	自主公演	演劇アカデミー修了生を中心に市 民運営の演劇祭を開催する。	自主
第17回とよた ストーリーテリング フェスティバル	8月～9月	自主公演	語りや音楽などで民族の誇りや伝 承文化を伝えるストーリーテラー による移動公演を開催する。	自主

※事業区分について：自主－当財団独自の事業、共催－豊田市との共催事業、受託－豊田市から委託を受けて実施する事業

農村舞台アート プロジェクト2017	9月～10月	博物館等 の展示	地域活性化を推進するため農村舞台を使いライブ又はアート展を開催する。(市民文化会館と連携)	自主
県文連芸能大会	9月	自主公演	県文連西三河部主催の芸能大会。 舞台文化の振興と文化協会の親睦と連携を深めることを目的として開催する。	自主
県文連美術展	10月	博物館等 の展示	県文連主催の美術展。 美術文化の振興と次代を担う新人の発掘を目的として開催する。	自主
【臨時】 第15回豊田工芸作品展	10月	博物館等 の展示	工芸作家と愛好家が一堂に介しての作品発表と作家同士の交流を目的に開催する。	自主
ジュニアプラスコンサート	11月	自主公演	小学校吹奏楽の演奏会を開催する。	共催
吹奏楽フェスティバル 2017	11月	自主公演	豊田加茂吹奏楽連盟による中学校と高校吹奏楽の演奏会を開催する。	共催
市民音楽祭2017	12月	自主公演	市民による参加型のジャンルを問わない音楽祭を開催する。	自主
第28回 歳末チャリティー作品展	12月	博物館等 の展示	文化団体の作品を廉価で頒布し、その収益を福祉団体へ寄附する。	自主
第42回お茶と花と 文化講演の集い (華展、お茶席)	2月10日 ・11日	博物館等 の展示	文化講演を聴き、お茶と花に親しみ伝統文化の普及を図る。 (市民文化会館と連携)	自主
【新規】 珠玉の短編シリーズ	3月	自主公演	良質な演劇公演とアカデミー卒業生の受け皿としての公演を開催する。	共催

【文化・芸術に関する講座の開催等、文化・芸術に関する知識及び技能の習得を図る事業】

事 業 名	期 日	内 容		事 業 区 分
文化活動者派遣事業	通年	体験活動等	市内小中学校等へ文化活動者のワークショップを出前する。 (市民文化会館と連携)	共催
音楽練習場運営事業	通年	講座、 セミナー、 育成	音楽団体の育成と音楽練習場の運営を行う。	自主
第56回 全日本かるた選手権大会	4月	競技会	名人戦・選抜大会と並ぶ全国三大競技かるた大会に発展した大会。 全日本かるた協会と共に開催する。	自主
舞台芸術人材育成事業 とよた演劇アカデミー	5月～ 翌年2月	講座、 セミナー、 育成	演劇人の養成及び演出、プロデューサー、広報など幅広い人材を育成する講座と公演を開催する。(市民文化会館と連携)	共催

第88期将棋棋聖戦 第2局	6月	講座、 セミナー、 育成	将棋7大タイトル戦の一つである「棋聖戦」を開催する。	共催
第13回とよたふれあい 将棋フェスティバル	6月	競技会	子どもによる将棋対局や指導将棋など親子ふれあいの機会提供と将棋の普及を図る機会を提供する。	共催
第49回市民民踊講習会	6月	講座、 セミナー、 育成	地域や職域で開催する盆踊り大会のため新作等を取り入れた踊りの講習会を開催する。	共催
こども茶華道教室	6月～12月	講座、 セミナー、 育成	小・中学生を対象に茶道・華道の基本を学ぶ。(全6回)	自主
民謡を唄う会	7月～12月	講座、 セミナー、 育成	民謡の持つ明るさ、楽しさを知るために、楽しく分かりやすい講習会を開催する。	自主
【臨時】 愛環碁会	8月	競技会	5年に1回。愛環鉄道沿線の6市による囲碁大会。囲碁文化の振興と交流を図る。	自主
おいでんアート体験フェア	9月	体験活動等	子どもたちに文化・芸術体験の機会を提供する。文化の担い手づくり。 夏休みこども博覧会を統合。	共催
秋季市民茶会	11月	体験活動等	市民が気軽に茶の湯に親しむ茶会を開催する。	共催
第38回 とよた囲碁まつり	2月	競技会	クラス別の囲碁対局やプロ棋士の指導碁を通じて市民の交流を図る機会を提供する。	共催

【文化・芸術の振興に関する表彰、助成等を行う事業】

事業名	期日	内 容		事業区分
【新規】 (仮) 助成事業	通年	助成 (応募型)	文化団体や市民の活動を様々な角度からサポートし、文化事業の活性化を推進する。	自主
平成29年度財団大会 (文化表彰)	6月	表彰、 コンクール	基本方針を内外に示すとともに、地域の文化振興や青少年健全育成に業績を挙げた功労者を表彰する。	自主
とよた連句まつり	11月	表彰、 コンクール	公募による連句大会を開催する。	自主
市民俳句会秋季大会	11月	表彰、 コンクール	公募による俳句大会を開催する。	自主

市民短歌大会	11月	表彰、コンクール	公募による短歌大会を開催する。	自主
第29回とよたビデオコンテスト	12月	表彰、コンクール	全国公募のビデオコンテストを開催し、表彰及びビデオ入賞者作品の発表会を開催する。 (視聴覚ライブラリーと連携)	自主
イルミネーションストリーラインとよた	12月	自主事業	快適な都市空間を創出し、市街地の活性化を図る。	自主
第25回とよたフォトドキュメント2017	2月	表彰、コンクール	豊田市内の出来事や市民の生活・風習を捉えた写真の公募展を開催する。	共催

【地域文化に関する調査及び情報の提供を行う事業】

事業名	期日	内容		事業区分
CATV文化情報番組制作 「豊田文化アワー」	通年	調査、資料収集	地域文化を市民サイドから考える文化情報番組を制作、ひまわりネットワークで放映し情報の提供を行う。	自主
文化情報誌 「カレント」発行	季刊	調査、資料収集	市内で開催されるあらゆる文化情報を網羅した情報誌を発行し、情報の提供を行う。	自主

【青少年音楽団体の運営及び青少年団体に対する助言その他の支援を行う事業】

事業名	期日	内容		事業区分
豊田市青少年音楽活動実施事業 豊田市少年少女合唱団運営	通年	体験活動等	定期演奏会、こどもコーラス・フェスティバルのほか、各種イベント出演などの活動を行う。	受託
豊田市青少年音楽活動実施事業 豊田市ジュニアマーチングバンド運営	通年	体験活動等	定期演奏会、マーチング三河大会のほか、各種イベント出演などの活動を行う。	受託
おいでんオープニング	7月	体験活動等	おいでんまつりのオープニングイベントとして、ジュニアマーチングバンドのパフォーマンスを披露する。	自主

2 市民文化会館

豊田市の文化芸術の拠点施設のひとつとして、創造性豊かで潤いと活力に満ちた市民生活の実現へ向けた取り組みを推進することにより、文化的賑わいを創出し、文化によるまちづくりに貢献します。そのために、市民が文化芸術に触れる機会の提供、市民の主体的な文化芸術活動の支援、「安全」・「安心」・「快適」な施設の提供に努力を重ねます。

■事業

ホール施設を有効活用し、音楽・演劇・芸能・講演などの優れた文化芸術の鑑賞事業を開催することにより、市民が文化芸術の良さを身近に感じる機会を提供します。

今年度は、市民に好評な「とよた寄席」、「文化講演会」などの事業は引き続き効果的に実施するとともに、新規顧客開拓に繋がる新たな事業として「アニソン BIG3 スーパーライブ」、「玉置浩二コンサートツアー 2017」などに取り組みます。

■施設運営

市民の主体的な利用に対しては、公平公正な運営基準のもと、利用者の立場に立った心のこもったおもてなし対応と支援を行うとともに、利用者のご意見ご要望の把握に努め、より一層親しまれる施設となるよう取り組みます。

また、「安全」・「安心」・「快適」な施設の提供には、日常的な施設・設備等の点検はもとより、職員の意識・能力・専門性を高め、危機管理のさらなる強化に取り組みます。

事業一覧

【文化施設等を活用して、市民が文化・芸術に触れる機会と場を提供する事業】

事 業 名	期 日	内 容		事業区分
【新規】 アニソン BIG3 スーパーライブ	5月21日	主催公演	日本を代表する文化のひとつとなったアニメソング界のレジェンド3人によるスーパーライブ 出演／水木一郎、堀江美都子、影山ヒロノブ	自主
【新規】 玉置浩二コンサートツアー 2017	10月	主催公演	類まれな音楽性と歌唱力を兼ね備えた玉置浩二のソロライブ	自主
【新規】 おかあさんといっしょ	7月	主催公演	2～4歳児を対象とした教育エンターテイメント。お兄さんお姉さんと一緒に歌や体操、人形劇やアニメショーなどを展開する。	自主
とよた寄席	未定	主催公演	市民ニーズの高い落語家等を招へいし、良質な伝統芸能に親しむ機会を提供する。	自主

※事業区分について：自主－当財団独自の事業、共催－豊田市との共催事業、受託－豊田市から委託を受けて実施する事業

第42回お茶と花と文化講演の集い (文化講演会)	2月10日 ・ 11日	自主公演	「第42回お茶と花と文化講演の集い」と題し、伝統文化の普及を図るとともに、市民ニーズに沿った講師を招き、文化について考える機会を提供する。 (文化事業課と連携)	自主
農村舞台 アートプロジェクト 2017	9月～10月	博物館等 の展示	農村舞台を会場として、ライブとアートなど様々な文化芸術活動を開催し、農村舞台の可能性を創造するとともに、地域の活性化を図る。 (文化事業課と連携)	自主
こころの劇場 劇団四季ミュージカル	7月28日	主催公演	子どもたちが演劇を鑑賞し感動することで、「生きることの素晴らしさ」「人を思いやり、信じあう喜び」について学び、道徳・情操教育に寄与するとともに、優れた舞台芸術に触れる機会を通じて、子どもたちの豊かな感性の育成を図る。 (豊田市及び劇団四季と共に)	共催

【文化・芸術に関する講座の開催等、文化・芸術に関する知識及び技能の習得を図る事業】

事 業 名	期 日	内 容	事 業 区 分
舞台芸術人材育成事業 とよた演劇アカデミー	5月～ 翌年2月	講座、 セミナー、 育成	演劇人の養成及び演出、プロデューサー、広報など幅広い人材を育成するための講座と公演を開催する。 (文化事業課と連携)
文化活動者派遣事業	通年	体験活動等	文化活動者と市内の児童・生徒が文化芸術と出会う機会を提供し、学校教育の総合学習に協力するとともに、文化芸術活動の普及に図る。 豊田市文化芸術振興計画に基づく新ジャンルのアウトリーチモデル事業。 (文化事業課と連携)

利用予定

○市民文化会館

施設名	件数	人數	利用内容
大ホール	200	155,000	演奏会・講演会・研究大会等
小ホール	260	56,000	ピアノ発表会・講演会等
展示室A	170	33,000	絵画・彫塑・書道・花展等
展示室B	170	22,000	"
リハーサル室・練習室	650	50,000	音楽・舞踊等各種リハーサル
会議室・和室	350	6,000	茶華道・会議等
計	1,800	322,000	

○市民ギャラリー

施設名	件数	人數	利用内容
展示室A・B・C	150	22,000	絵画・彫塑・書道・花展等

○総合計

総合計	1,950	344,000	
-----	-------	---------	--

3 視聴覚ライブラリー

今までに情報収集した映像のデジタル化の選別作業を行い、映像教材として保存活用を図ります。また、映像媒体を有効活用するための各種講習会等を通じて、市民自らが取得した技術を活かしたボランティア活動により、調査及び情報の収集の発展につながるよう事業の展開を図ります。

■事業

継続的な文化の伝承を目的に、とよたの人物記やとよたのむかしばななどのPRや、活用を図ります。また、各種講習会などを通して、映像ボランティアの育成にも力を注ぎます。

「らいぶらりーたより」、「夏休み親子映画会」、「映画塾」、「ホームページ」などの事業の展開により、市民を始め、学校教育現場、生涯学習分野（交流館・子ども会等）へ広く発信することに努めます。

■施設運営

視聴覚教材、機材の貸出しだけでなく、利用上の相談・利用指導・講習会などきめ細かな市民サービスに努めます。また、市民の文化活動を推進するため、利用者の皆様が、快適で安全にご利用していただけるよう、常に良好な状態を維持するとともに、市民の皆様により親しまれるよう、市民ニーズに沿ったサービスの提供と利用促進を目指します。

事業一覧

【文化施設等を活用して、市民が文化・芸術に触れる機会と場を提供する事業】

事業名	期日	内容		事業区分
ロビー展示	通年	博物館等の展示	利用者の活動内容を紹介し、作品等を展示する。	自主
映画塾	年3回	自主公演	映画のレクチャーを通じて人生の喜びや悲しみを知り、感動を得る教養講座。	自主

【文化・芸術に関する講座の開催等、文化・芸術に関する知識及び技能の習得を図る事業】

事業名	期日	内容		事業区分
初心者のためのビデオ講習会	年4回	講座、セミナー、育成	カメラで撮影した映像を、編集とBGMテロップを入れ、楽しく見られるようビデオ制作の基本を学ぶ。	受託
ビデオ塾入門講座	年3回	講座、セミナー、育成	映像制作の専門家を講師に迎え、シリオや映像構成等のワークショップを開催する。	受託

※事業区分について：自主－当財団独自の事業、共催－豊田市との共催事業、受託－豊田市から委託を受けて実施する事業

【文化・芸術の振興に関する表彰、助成等を行う事業】

事業名	期日	内容		事業区分
第29回とよたビデオコンテスト	12月	表彰、コンクール	全国公募のビデオコンテストを開催し、表彰及びビデオ入賞者作品の発表会を開催する。(文化事業課と連携)	自主

【地域文化に関する調査及び情報の提供を行う事業】

事業名	期日	内容		事業区分
とよた定点観測	4月	調査、資料収集	毎年4月1日を観測日に定め、豊田市の変遷を写真とビデオで記録する。 (豊田アーカイブ)	自主
アウトリーチ事業 映像による郷土学習	通年	調査、資料収集	他施設の講座への企画協力(ライブラリーが作成した作品の上映)を通して利用の促進を図る。	自主
夏休み親子映画会	8月	調査、資料収集	ライブラリーの所有する作品などを広くPRするため、人気アニメを同時上映する『夏休み親子映画会』を実施し、参加者増を図る。	受託
らいぶらりーたより 発行	年4回	調査、資料収集	ライブラリーの情報として、年4回たよりを発行し利用の促進を図る。	受託
出張映写会	通年	調査、資料収集	豊田市が自主制作した作品など地域の歴史にスポットをあて、高齢者を対象としてその時代の豊田市の様子や懐かしさを演出し上映する。	受託

利用予定

施設名	件数	人数	利用内容
教材・機材貸出	200	(200本)	プロジェクター・DVD等貸出し
集会室・研修室 等	3,900	70,000	会議・研修会・講演会等
計	4,100	70,000	

4 コンサートホール・能楽堂

豊田市の音楽、伝統芸能の拠点施設として「本物の芸術・文化との出会い」、「伝統文化の継承」、「市民参加による芸術・文化の創造」を3本柱に、独自性のある魅力的な事業を展開し、音楽文化の向上と伝統文化の継承に努めます。

■事業

世界的な一流の芸術家による公演と親しみやすい公演のバランスを重視しながら、独自性の高い事業企画を目指すとともに、音楽団体や保存会等との共働により、地域文化の創造につながる事業を展開していきます。また、子どもから高齢者まで気軽にクラシック音楽や伝統芸能を楽しく体験できる事業を提供し、文化・芸術に興味を持つ市民層の拡大を図ります。

■施設運営

市民の文化活動の促進を図るため、利用手続や利用方法において利用者側の立場に立った助言・指導を行い、利用率向上を図ります。また、利用者に施設運営・設備に関するアンケートを実施し、意見・要望を把握することで、より使いやすい快適な施設運営に努めています。

事業一覧

【文化施設等を活用して、市民が文化・芸術に触れる機会と場を提供する事業】

事業名	期日	内容	事業区分
アヴィ・アヴィタル &ヴェニス・バロック ・オーケストラ	4月22日	主催公演 エコー賞受賞の実力者、マンドリン界のカリスマがヨーロッパ屈指の古楽器オーケストラ、“ヴェニス・バロック・オーケストラ”と贈る、変幻自在のヴィヴァルディ、薫り高く鮮烈なエネツィアン・サウンド。	共催
さつき能	5月14日	自主公演 能「盛久」／山井綱雄（金春流） 狂言「因幡堂」／茂山あきら（大蔵流）を開催する。	共催
ハーゲン・クアルテット	7月1日	主催公演 ザルツブルグ音楽祭の常連、ドイツ・グラモフォンから多数の名盤をリリースする世界最高の弦楽四重奏団	共催
織姫能 ～女性能樂師の饗宴～	7月2日	自主公演 語り「今昔物語」／平野啓子 能「蝉丸」／鵜沢光（観世流）大島衣恵（喜多流）らによる女性をメインとした公演を開催する。	共催

※事業区分について：自主－当財団独自の事業、共催－豊田市との共催事業、受託－豊田市から委託を受けて実施する事業

トリノ王立歌劇場トリオ	7月8日	主催公演	来日中の本場イタリア、トリノ王立歌劇場の精鋭たちが繰り広げる“オペラいいとこどり” ソプラノ、テノール、ヴァイオリン、チェロ、ピアノによる華麗なるイタリアオペラの世界	共催
能楽堂で見る日本の伝統芸能シリーズ36 「もの語りの唄」	7月9日	自主公演	国定忠治、忠臣蔵など語り継がれる物語を「浪曲」「甚句」「八木節」などで堪能する公演を開催する。	共催
デトロイト交響楽団	7月15日	主催公演	豊田市の姉妹都市、米国デトロイトが誇る、プラスを中心とした特徴的な響きで数々の名演を成し遂げてきた1914年設立の名門。当館開館の1998年以来、2度目の来豊。指揮はレナード・スラットキン、ピアノに小曾根真、ヴァイオリンに諏訪内晶子を迎えて開催する。	共催
夏休み親子で楽しむわくわく能楽体験	8月27日	自主公演	公演鑑賞とワークショップで能楽に親しむ親子向けイベントを開催する。	共催
菊月能	9月2日	自主公演	能「花筐」／武田孝史（宝生流）狂言「鈍太郎」／山本則孝（大蔵流）を開催する。	共催
ハンス＝ オラ・エリクソン オルガン・リサイタル	9月3日	主催公演	スウェーデンのオルガニスト。BIS レベルに膨大な録音を残すヨーロッパ・オルガン界の巨人。メシャン全集の録音はドイツの新聞 Die Zeit 紙の「21世紀に残したい111枚」に選ばれた「音の魔術師」がその魔法の手足で魅せる！	共催
口マン派症候群 「ある芸術家の生涯」	9月13日	自主公演	上田市交流文化芸術センター制作のクラシック音楽と演劇のコラボレーション作品。公共ホール制作の作品を複数館で公演し、ホール間の連携を図る。音楽監修とピアノは仲道郁代、作・演出は「南河内万歳一座」の内藤裕敬が担当。その他ヴァイオリンとチエロを名古屋フィル奏者が担当予定。	共催
豊田市民 クラシック コンサート	9月16日 ・17日	自主公演	市内在住・在勤・在学・出身のクラシック音楽演奏愛好家によるコンサートを開催する。	共催
ルドルフ・ ブッフビンダー ピアノ・リサイタル	9月25日	主催公演	正統的なドイツ・オーストリア音楽を聴かせるウィーンの巨匠ピアニスト。ベートーヴェン、シューベルトの王道を聴く。	共催

市民演能会	9月30日 10月1日	自主公演	能楽愛好家の方々に発表の場を提供する市民参加型事業を開催する。	共催
特別公演	10月7日	自主公演	能「殺生石」／今井清隆（金剛流） 狂言「朝比奈」／野村又三郎（和泉流）を開催する。	共催
世界音楽の旅シリーズ ハワイアン ～フラダンスで楽しむ ハワイの民族芸能～	10月22日	自主公演	歌、フラダンス、ウクレレ等で楽しむハワイの民族芸能の華やかなステージを開催する。	共催
パリ管弦楽団 プラス・クインテット	10月28日	主催公演	メンバー全員が名門パリ管弦楽団の首席プラス奏者による優雅で華麗な伝統のフレンチ・プラス・アンサンブル。	共催
能楽堂で見る日本の伝統 芸能シリーズ37 「声明」	10月29日	自主公演	日本諸芸能の源流といわれる「声明」を中心に「平家」「謡曲」と聞き比べて体感する公演を開催する。	共催
レオニダス・カヴァコス ヴァイオリニスト ・リサイタル	11月14日	主催公演	ギリシアの名ヴァイオリニスト。澄んだ音と端正な演奏スタイルで、現代でも最高のヴァイオリニストの一人。	共催
ロジェー・ワーグナー 合唱団	12月2日	主催公演	結成から50年以上の歴史を誇り、80枚以上ものアルバムを発表したアメリカが世界に誇る名合唱団。温かく柔らかなハーモニーと洗練されたアレンジは、今もなお健在。世界中の人々に広く親しまれ、朗らかな歌声を聴かせる。	共催
狂言づくし	12月17日	自主公演	野村万蔵家による狂言を開催する。	共催
ハンガリー・ブダペスト ・オペレッタ劇場 ニューイヤー・ コンサート	1月8日	主催公演	オペレッタの殿堂ハンガリーのブダペスト・オペレッタ劇場のオケ、歌手、ダンサーによる、エンターテイメント性にあふれるニューイヤー・コンサート。	共催
新春能	1月13日	自主公演	能「西行桜」／長田驍（喜多流） 狂言「素抱落」／茂山七五三（大蔵流）を開催する。	共催
京都市交響楽団 オーケストラ・ライブ・ シネマ	1月14日	自主公演	チャップリン名作映画とオーケストラのシンクロ。「音楽」を言葉や感情を表す手段とし、「効果音」の生演奏まで入れる「京響スタイル」。音楽はチャップリンの書いたオリジナル。	共催

名古屋フィルハーモニー交響楽団 豊田市コンサートホール・シリーズ Vol. 5	2月3日	自主公演	名フィルが豊田市コンサートホールを会場にして行う演奏会を開催。名フィルとの共催。	共催
三月能	3月3日	自主公演	能「船弁慶」／観世喜正（観世流）他、狂言の公演を開催する。	共催
コンサートホール・フェスティバル	3月10日	自主公演	コンサートホール全館を公開して、ワークショップ・楽器体験・演奏会を開催する。	共催
とよたフレッシュコンサート	3月17日	自主公演	平成26年～28年に音楽専攻の大学を卒業した新人演奏家によるコンサートを開催する。	共催
ロビー コンサート	通年	自主公演	市内各地で市民演奏家によるコンサートを開催する。（参合館ロビー、市役所ロビー、出前コンサート等）	共催
かーるくラシックイブニングコンサート	年6回	自主公演	クラシックの名曲を気軽に親しむ60分のイブニング・コンサートを開催する。2回はスペシャル版として、菊池洋子等によるピアノの超名曲のコンサートを開催する。	共催
モーツアルト室内楽シリーズ	年3回	自主公演	ある作曲家をフォーカスした室内楽シリーズ。29年度はモーツアルト。	共催
お昼のパイプオルガンコンサート	年4回	自主公演	気軽にパイプオルガンの魅力に親しんでもらう60分のランチタイム・コンサートを開催する。	共催
アウトリーチ	年10回程度	自主公演	外来演奏家に市内小中学校などへ出向いてもらい、演奏・指導等していくだけアウトリーチ・コンサートやプロの能楽師によるワークショップを開催する。	共催
豊田市コンサートホール・能楽堂企画運営	通年	その他	専門家・市民代表で組織された企画運営委員会を開催し、市民に親しまれる事業づくりをする。	受託

【文化・芸術に関する講座の開催等、文化・芸術に関する知識及び技能の習得を図る事業】

事業名	期日	内容		事業区分
オルガン演奏体験講座	7月30日 ・31日	体験活動等	コンサートホールのジョン・ブランボー社製オルガンを実際に演奏することができる体験講座を開催する。	共催
能楽入門講座	7月～9月	体験活動等	狂言、お囃子 ^{月やし} 、謡、仕舞などの体験習得講座を開催する。	共催
みんなで歌おう 懐かしい歌を	年2回	講座、 セミナー、 育成	初めての人にも気軽に足を運んでもらう参加型企画。懐かしい時代を反映する様々なエピソードを交えつつ、歌謡曲・映画音楽・ジャズ・民謡まで、懐かしい歌のオリジナルを聴き、会場のお客様も一緒に歌う。	共催
能狂言が見たくなる講座	年4回	講座、 セミナー、 育成	様々な視点から能・狂言の魅力に迫る講座を開催する。	共催
パイプオルガンを 楽しむための講座	年3回	講座、 セミナー、 育成	オルガンへの興味を深め、より楽しんでもらうための映像と演奏を交えた講座を開催する。	共催
ふらっと能楽堂	年2回	講座、 セミナー、 育成	気軽に能楽・伝統芸能に親しむための初級者講座を開催する。	共催

【青少年音楽団体の運営及び青少年団体に対する助言その他の支援を行う事業】

事業名	期日	内容		事業区分
豊田市青少年 音楽活動実施事業 豊田市ジュニアオーケストラ運営	通年	体験活動等	ジュニアオーケストラを運営し、年2回の定期演奏会などの活動を行う。	受託

利用予定

施設名	件数	人數	利用内容
コンサートホール	205	63,000	コンサート等
能楽堂	70	13,000	能・狂言・その他邦楽等
多目的ルーム	140	6,000	講座・講演・ピアノ発表会等
リハーサル室 等	350	5,000	音楽・能楽・謡曲等のリハーサル
計	765	87,000	

5 歌舞伎伝承館

文化活動のコーディネーターとして、多様なニーズやライフスタイルを大切に受け止め、市民や文化団体、またはアーティストや各種団体などと連携と共働により、子どもから高齢者まですべての世代が輝き、活躍するまち、また人や地域などが文化でつながるまちづくりの実現を目指します。

■事業

豊田市の農村歌舞伎の価値を市内外に発信する活動を展開し、その活動を通して、市民の郷土への誇りと愛着を育むことを目的とする。また、小原地区の郷土資料の展示も行い、地域の魅力発信やスクールサポートを実施する場として事業を展開いたします。

事業一覧

【文化・芸術に関する講座の開催等、文化・芸術に関する知識及び技能の習得を図る事業】

事 業 名	期 日	内 容		事 業 区 分
【新規】 歌舞伎伝承館歌舞伎事業	通年	体験活動等	入門講座、ワークショップ、展示等	受託

※事業区分について：自主－当財団独自の事業、共催－豊田市との共催事業、受託－豊田市から委託を受けて実施する事業

6 青少年センター

青少年センターは、豊田市の中心市街地（産業文化センター内）に移転し3年目を迎えます。交通の利便性やまちのにぎわいを活かし、青少年活動をまちづくりにつなげていくよう、学生や青年層をメインターゲットに次の5つの機能を果たしていきます。まちづくり提案やボランティア活動など「社会活動」の機会の提供、ひきこもりや未婚・晩婚化など青少年の課題に対応した「自立支援」、青少年の企画・運営を実現すべく「自主的な活動」を推進し、気軽な交流の場を創造する「居場所づくり」、青少年団体やサークル・グループなどの活動施設としての「青少年活動の拠点づくり」の機能を果たすべくさまざまな事業を展開します。

■事業

青少年センターは、豊田市における青少年活動の中央拠点施設として期待されています。施設をより有効利用するためにも、青少年層をより多く集客するために、ロビー活用事業・若者開放事業・若者ルーム運営などを充実させ、気楽に集まり交流できる環境を整備します。また、青少年課題のひとつ「ひきこもり」や「未婚・晩婚化」に対応すべく、若者サポートステーションと連携し若者への支援体制を確立し、男女の出会いの事業や後援事業を多数実施します。そして、若い世代を対象にした大学生連携事業・学生とハタラクをつなぐプロジェクトなどの学生を取り込む事業を充実し開催します。また、個人登録システムである若者応援ネット「プラス」を円滑に運営し、若い世代にとって必要な情報提供や効率的な事業活用を図ります。若い世代の力を集約し、市民団体・事業所・教育関係団体・行政など幅広く連携・共働し、青少年育成委員会によるガバナンスの意見を取り入れ、青少年健全育成を推進していきます。

■施設運営

改善運動への全員参加、危機管理マニュアルに基づいた各種訓練の実施、利用者懇談会・施設利用アンケートの実施など、市民の安全・安心・快適な利用のために、効率的な管理運営と市民サービス向上に努めます。また、ライン・メルマガ・フェイスブックなどによる情報提供、ホームページの充実や利用相談窓口及び若者情報紙提供の整備など、情報の需要・供給の機能の向上を図るとともに、職員の専門知識・能力向上のため専門研修への参加や職場研修を推進します。

事業一覧

【青少年育成施設等を活用して、青少年の社会性と豊かな情操を養う機会と場を提供する事業】

事業名	期日	内 容	事業区分	
サークル・グループ文化祭 With 連携 6 大学	1月	体験活動等	学生や若者の活動拠点としての青少年センターを P R する文化祭を開催する。 青少年団体メンバーで組織する実行委員会が企画運営し、日頃の活動を広く市民へ P R し、新規団体、新メンバーの獲得につなげる機会とする。 連携 6 大学学生による活動成果を発表するブーススペースを設け、学生の学習成果や自主活動を市民に P R する。	自主
【新規】 若者の考える未来 ～18歳成人にむけて～	5月～ 翌年1月 4回	講座、 セミナー、 育成	成人年齢を 18 歳に引き下げる民法改正を見据え、当事者である若者の意見を発信するイベントを開催する。 毎回設けたテーマに沿って意見をぶつけ合いながら学ぶ機会を経て、最終回に「自分たちの考える未来」について公開討論会を開催し、若者の考えを発信する。	共催
【新規】 ラグビーW杯盛り上げ ボランティア隊	通年	体験活動等	2019 年ラグビーW杯を盛り上げるために、イベント開催やボランティアとして活躍する学生グループを育成する。	共催
【新規】 学生とハタラクをつなぐ プロジェクト	8月～ 翌年2月 4回	講座、 セミナー、 育成	学生とハタラク職場の出会いを創出し、魅力的なハタラク職場の発見や「ハタラク」意義、価値観について学ぶきっかけづくり。	共催
【新規】 若者ルーム	通年	施設の貸与	学生が「まちづくり提案」等の活動の拠点として自由に活用できる部屋を提供し、利用する学生自らが運用ルールを作り自主管理する。また、ユースクラブの活動拠点として活用する。	共催
ユースクラブ	通年 研修 5 回 自主企画 2 回	講座、 セミナー、 育成	青年企画の事業を実施するため、研修を通じて様々な知識や経験の上積みを図る。 青年利用者間の交流促進を図る。 事業運営サポーターの育成を図る。	共催

※事業区分について：自主－当財団独自の事業、共催－豊田市との共催事業、受託－豊田市から委託を受けて実施する事業

高校生ボランティアスクール	5月～ 翌年3月 各コース 13回	講座、 セミナー、 育成	様々なボランティア活動や地域、社会参加を体験し、人とのふれあい・語らいを通して、自立心と思いやりをもった青少年を育成する。保育コース・福祉コース・レクコース・ものづくりコース（総合野外センター、産業文化センターと連携）	共催
大学生連携事業	通年 3回	体験活動等	大学生のゼミ活動、クラブ活動等の発表の場としてセンターロビーや会議室を活用して学生の活動をPRする。大学の社会教育演習（履修科目）として青少年育成事業を学習する機会を提供する。	共催
学生交流塾	5月～ 翌年3月 5回	体験活動等	学生たちが学校や学年の垣根を越えて集い、学生生活で学んだことや思いを形にするための交流活動。	共催
学生まちづくり提案支援事業	11月	体験活動等	学生によるまちづくり提案の事業を補助する。	共催
インターンシップ事業	8月・ 翌年2月 各10日間	体験活動等	近隣の大学との連携により、学生の社会教育学習のサポートを行う。	共催
婚活後援事業	8月～9月 1回	体験活動等	郷土の魅力を活かした男女の出会いやNPO団体や青年グループ等の地域での婚活支援を行う。	共催
クリスマスパーティー	12月	体験活動等	クリスマスをキーワードにした男女の出会いを創出する婚活事業をユースクラブ会員のスキルを生かす機会として開催する。	共催
バレンタインパーティー	2月	体験活動等	バレンタインをキーワードにした男女の出会いを創出する婚活事業をユースクラブ会員のスキルを生かす機会として開催する。	共催
ロビー活用事業	通年	体験活動等	青少年利用者、登録青少年団体が日頃の活動成果を発表する機会と、産業文化センターの賑わいつくりを目的としてロビー（サロン）を活用する。	共催
とよた若者応援ネット「プラス」	通年	その他	個人登録のデータとライン@のネットワークを活用し、青少年に有益な情報をリアルタイムに発信する。	共催
学習・卓球等開放事業	通年	施設の貸与	空室を自主学習や音楽やダンス・演劇等の自主練習会場として提供する。軽運動室で卓球ができる機会を青少年の居場所として活用する。	受託

【青少年音楽団体の運営及び青少年団体に対する助言その他の支援を行う事業】

事業名	期日	内容		事業区分
豊田市青少年団体 傷害互助会事業	通年	その他	豊田市内の青少年団体の活動を支援し、加入者が団体活動中に不慮の事故に際し、見舞金を支給する。	自主
平成29年度財団大会 (青少年表彰)	6月	表彰、 コンクール	青少年健全育成において優れた業績をあげた団体及び功労者を称え、財団大会に於いて表彰する。	自主
レクリエーション団体 指導者派遣	通年	相談・助言	①レク指導者団体の情報交換（定例会）と、子ども会等へ指導者派遣する活動支援。 ②社会貢献活動の一環として交流館等の地域イベントに団体を派遣する。	共催
子ども会事務支援	通年	相談・助言	豊田市子ども会育成連絡協議会（市子連）の事務局として運営を支援し、子ども会活動の活発化を推進する。	受託

利用予定

○青少年センター

施設名	件数	人数	利用内容
会議室・音楽室・軽運動室 等	6,000	74,000	会議・研修・バンド練習・ダンス 等

○その他

施設名	件数	人数	利用内容
ロビー 等	400	36,000	たまり場 等

○総合計

総合計	6,400	110,000	
-----	-------	---------	--

7 総合野外センター

野外活動の拠点施設として、こども園、幼稚園、小学校、中学校のほか、子ども会などの青少年団体の野外体験学習の受入れや活動指導を通して青少年の健全育成を図ります。また、施設を利用する団体に「豊かな自然がある」、「宿泊できる」など、施設の特色を活かした魅力ある活動プログラムが提供できるよう、学校と連携した「絆づくりプログラム」や「自然環境を活かした活動プログラム」の開発、星空観察やナイトハイキング、キャンプファイヤーなどの「夜間活動プログラム」の充実に努めます。また野外活動を指導する青年指導者の育成にも努めます。

■事業

子どもの「生きる力」を高めるための事業を積極的に行います。学校の教育課程に位置付けられた小学校のキャンプ、中学校の宿泊学習では、直接指導を通して目的の達成を支援します。また教職員を対象とした「指導者研修会」、青年を対象とした「キャンプインストラクター養成講習会」、「キャンプスタッフ養成講習会」を実施し、野外活動指導者の育成にも努めます。

「チャレンジキャンプ」、「山の子学級」、「六所のつどい」、「キッズ・キャンプ」では、参加した子どもたちが、自然のすばらしさを感じたり、学年の枠を超えた集団による活動の中で、思いやりの心や協力性を身につけたりする機会とするため、学校のキャンプでは体験できないような活動を企画・実施します。

新規事業としては「サバイバル防災キャンプ」や「親子自然体験塾」、従来の「ファミリーキャンプ」とともに、野外活動を通して親子の触れ合いや家族間交流の場を提供します。また、小学校低学年の子どもたちを対象に、自然の中でたくましく遊んだり、工夫する楽しさを体験する「六所であそぼう」を実施します。

この他には、他施設との連携事業「応援アウトドア」や支援事業として関連団体と協働で「里山体験塾」なども実施します。

■施設運営

学校以外の青少年団体の利用を促進するため、利用希望団体が多い夏休み期間中の月曜日を開館し、利用受入枠の増加に努めます。また施設面においては、利用者が安全に施設を利用できるように、利用者の目線で施設、設備の点検を実施し、不具合が見つかれば早急に対応できる体制づくりに努めます。あわせて、施設の營繕や自然環境の保全作業についての自主管理能力の向上に努め、経費の縮減を積極的に図ります。また、食堂の効率的な運営を図るために委託業者との連携を密にして進めます。

事業一覧

【青少年育成施設等を活用して、青少年の社会性と豊かな情操を養う機会と場を提供する事業】

事業名	期日	内容		事業区分
チャレンジキャンプ	8月	体験活動等	普段の生活から離れた3泊4日の長期キャンプを通じて、野外活動や生活体験の中で直面する様々な課題を仲間とともに解決し社会性豊かな人間性を育む。	自主
アウトリーチ事業 応援アウトドア	年6回	体験活動等	他施設を会場に、当センタープログラムやノウハウを使ったミニ野外活動体験会の実施及び他施設主催講座の実施及び他施設主催講座への企画協力、職員の講師派遣。	自主
ファミリーキャンプ	年7回	体験活動等	自然に親しみ、家族の絆を深めるために野外活動を計画する家族への施設開放と魅力的なプログラムの提供。 ※5月は日帰り、それ以外は1泊2日で実施する。 ※10月～3月は自然の家宿泊	自主
星を見る会	年4回	体験活動等	プラネタリウムで当日の星空を学んだ後、総合野外センターで本物の星空を観察する会を実施する。 (産業文化センターと連携)	自主
親子自然体験塾	6月・ 11月・ 翌年1月	体験活動等	里山での自然観察や山林資源を活用する薪作り体験活動をとおして、生命の大切さやエネルギーの循環を学ぶとともに、家族のきずなを深める。	自主
支援事業 里山仕事体験塾	年6回	体験活動等	薪割り・炭作りなどの山里での林業体験や、自然の中でのレクリエーション活動をとおして、青年の社会復帰支援を関連団体との協働で行う。	自主
キャンプスタッフ 養成講習会	5月・ 6月・ 9月・ 10月	講座 セミナー 育成	野外活動の意義や基礎的な知識の習得、プログラムの実践体験から指導方法のノウハウを学び、指導力を向上させるとともに、年間を通して意欲的に野外センターで活躍するキャンプスタッフの養成を図る。	自主
山の子学級	10月 ～翌年2月 年5回	体験活動等	仲間と協力して活動することで、人間的な関わりを深めながら、自然の豊かさや大切さを学ぶことを目的とした野外活動プログラムを提供する。秋から冬の半年間で実施する。	共催

※事業区分について：自主－当財団独自の事業、共催－豊田市との共催事業、受託－豊田市から委託を受けて実施する事業

六所のつどい	5月・ 8月・ 翌年1月	体験活動等	活動時期に応じた自然体験、野外活動体験、クラフト活動を企画し、自然の素晴らしさ、大切さを知るとともに、集団活動の中で仲間作りや協力することの意義を学ぶ。	共催
キッズ・キャンプ	3月	体験活動等	参加者ニーズに応えられるような冬期キャンプを実施するとともに、市内大学生を公募しキャンプ企画から運営まで携わる事で指導者の資質向上を図る。	共催
六所であそぼう	8月・ 11月・ 翌年2月	体験活動等	小学校低学年を対象に、クラフト活動やハイキングをとおして、自然の豊かさや大きさを学ぶことを目的とした野外活動プログラムを提供する。	共催
サバイバル防災キャンプ	9月・ 翌年3月	体験活動等	災害時に応える、気候に応じた野外活動や燃料を手に入れるための薪割り体験から「知識」や「技能」を学び、防災意識を高めるとともに、親子の触れ合いや参加した家族間の交流を図るプログラムを提供する。	共催
キャンプインストラクター養成講習会	2月	講座 セミナー 育成	日本キャンプ協会と連携して野外活動の基礎的な知識や技能の実践的な講習を行い、野外活動を支援する指導者を養成する。(キャンプ協会公認インストラクター資格試験受講対象)	共催
指導者研修会	4月・5月	講座 セミナー 育成	小中学校や少年団体の指導者が実際の場で活かせるように野外活動の基本や指導のポイントを学ぶ。	共催
スタッフ研修会	6月～9月	講座 セミナー 育成	山の子学級、チャレンジキャンプが安全で効率的に実施できるよう、担当するキャンプスタッフに事前研修を行う。	共催
高校生ボランティアスクール	5月～ 翌年3月	講座、 セミナー、 育成	レクリエーションのボランティア活動を通して、自立心と思いやりをもった青少年を育成する。(青少年センターと連携)	共催

利用予定

施設名	件数	人数	利用内容
少年自然の家	200	23,900	宿泊研修等
青少年キャンプ場	420	34,700	野外活動等
運動広場	30	6,500	軽スポーツ等
資料館	15	800	動植物標本・民芸資料の展示
多目的ホール	110	12,000	軽スポーツ・雨天時等の活動等
研修室	50	4,100	軽スポーツ・雨天時等の活動等
計	825	82,000	

8 産業文化センター

市民の文化活動や民間企業の団体活動など多様な利用者ニーズに対応し、複合施設としての特色を活かし、きめ細かな施設運営を目指します。また、入居団体との連絡・調整はもちろんのこと、開館30年を超える施設の延命化などの課題にも取り組み、より安心・快適を目指した施設運営に努めます。

「とよた科学体験館」は市内唯一の科学教育の拠点施設として、新たに設置される「(仮) ものづくり創造拠点」などとの連携を強化し、幅広い年齢層の市民が気軽に科学に触れられる生涯学習の機会の拡充に努めます。

■事業

サイエンス事業では、昨年度から実施した「サイエンス・ものづくり支援事業」の定着化を図り、こども園への出前サイエンスショー、交流館や地域へものづくり事業支援を通じ、科学・ものづくりの楽しさを伝えていきます。また、「とよた小中学生天文クイズ大会」は3年に一度の交流館との共働により、全市的な展開を進めます。サイエンスリテラシーの取り組みとして定着してきた「サイエンススクール」では、青少年センター「高校生ボランティアスクール・ものづくりコース」とも共働し、高校生の積極的な事業参画を図ります。併せてひまわりネットワークを活用した新たなPR手段として、LINE動画での情報発信による新たな取り組みに挑戦します。

市登録文化財である「喜楽亭」を活かした事業として、茶会の開催に加えて新たに「喜楽講座」を開設し、施設の魅力を発信できる事業にも取り組んでいきます。

■施設運営

管理と事業の一体的運営を目指し、施設の機能を最大限に發揮するとともに、ソフト事業の専門的な知識や経験を活かし、民間や行政では実施することが難しい財団独自の事業を、施設の特徴を活かして展開します。また、施設の延命化などの課題にも積極的に取り組むことにより、より安心・快適を目指した施設運営を進め、災害発生時には帰宅困難者対応の協力施設として機能させるなど、市民に親しまれ、利用しやすい施設運営に心がけます。またCSアンケートなどから利用者ニーズを的確に把握し、利用者満足度の向上を目指します。経費の縮減と安全管理に対しては、職員一人ひとりが経営感覚を持って取り組み、市民から信頼される施設運営を行います。

事業一覧

【青少年育成施設等を活用して、青少年の社会性と豊かな情操を養う機会と場を提供する事業】

事業名	期日	内容		事業区分
サイエンス・ものづくり支援事業	通年	体験活動等	サイエンスショー・科学工作などのノウハウ提供や他施設への出前講座を開催する。	自主
第4回とよた小中学生天文クイズ大会	年1回	競技会	小学3年生から中学生を対象に天文クイズ大会を予選（5会場）、決勝戦を実施する。【交流館と連携】	自主

※事業区分について：自主－当財団独自の事業、共催－豊田市との共催事業、受託－豊田市から委託を受けて実施する事業

サイエンスショー コンテスト	年1回	表彰、 コンクール	中学・高校の科学部が通年でサイエンスショーに取り組む「サイエンススクール」のサイエンスショー発表会をコンテスト形式として開催する。	自主
ミニワークショップ	毎週土・日 祝日 夏冬春休み	体験活動等	短時間でできる簡単な工作教室を実施する。	自主
星を見る会	年4回	体験活動等	プラネタリウムで当日の星空を学んだ後、総合野外センターで本物の星空を観察する会を実施する。[総合野外センターと連携]	自主
アストロクラブ 親子天体観望会	年2回	体験活動等	アストロクラブの会員と家族を対象に野外活動と天体望遠鏡での観望会を開催する。	自主
ものづくりフェスタ 2017	年1回	体験活動等	ものづくりフェスタ実行委員会主催のイベントに実行委員を派遣・出展協力をする。	自主
親子ものづくり講座	年9回 程度	体験活動等	ものづくりサポートセンター主催の講座に対し、申込み受付、会場の提供等の事業協力をする。	自主
コラボ事業	年5回	体験活動等	入居団体であるTIA・中日文化センター等とコラボし、相撲甚句、フランク等の実演、ポジャギ（韓国パッチワーク）等の展示等を行う。	自主
高校生ボランティア ものづくりコース	年8回	講座、 セミナー、 育成	ミニワークショップのお手伝いや展示解説などを行う。 [青少年センターと連携]	共催
アストロクラブ	初級コース	講座、 セミナー、 育成	子どもたちを対象にした天文教室。星の見つけ方や観測の方法などを学ぶ	受託
			天文の基礎知識や星座の見つけ方などを学ぶ。	
	中級コース		望遠鏡等の活用の仕方を通して、天文の楽しみ方を学ぶ。	
親子天文教室	年2回	体験活動等	親子を対象に季節の星空や宇宙の話題をわかりやすく紹介するイベントを開催する。	受託
天文セミナー	年1回	体験活動等	天文学や宇宙開発技術に関する専門家を講師に招いての講演会を開催する。	受託
プラネタリウムコンサート	年1回	体験活動等	プラネタリウムの星空のもと、星座解説やプロの音楽家の生演奏のコンサートを実施する（1日2回公演）。	受託

星空散歩ライブ	年1回	体験活動等	楽器演奏などとのコラボレーションで、音楽と映像と生解説の融合したオリジナル番組を投映する。	受託
星空散歩	週1回	体験活動等	オリジナル番組として制作し、生解説で投映を行う。	受託
ママとキッズの はじめてのプラネタリウム	年1・2回	体験活動等	プラネタリウムの暗さ・時間・内容を考慮した幼児と一緒に観賞できる投映を実施する。	受託
国際交流投映 「外国語DE プラネタリウム」	年1回	体験活動等	外国語による星空解説と最新鋭のデジタル映像による宇宙空間などのCG映像により、外国人向けの投映を実施する。	受託
街中の星見会「まちばし」	通年 適時開催	体験活動等	月や惑星などの星空の状況に応じて天体望遠鏡による観望会を開催し、プラネタリウムで星空の予習を行う。	受託
出前天体観測会	年1・2回	体験活動等	学校等に望遠鏡を持って出向き、天文のお話や天体観測会を実施する。	受託
プラネタリウム 投映事業	一般 投映	通年	とよた科学体験館の一般向け・子ども向け番組の投映、関連イベント開催による利用促進を行う。	受託
	学習 投映	通年	市内の小学4年生向け学習番組を投映する(学習投映)。	受託
宇宙飛行士 ワークショップ	年2回	体験活動等	宇宙飛行士に欠かせない知的能力を育むための訓練を体験プログラムとしたワークショップを開催する。	受託
企画展	年4回	体験活動等	スペースホールの壁面・サイエンスホール等の会場を利用して、天文・サイエンス・ものづくり等の関連した企画展を開催する。	受託
サイエンスショー	毎週土・日・祝日 等	体験活動等	科学の原理を実験によって紹介する実験ショーを実施する。また外部講師によるスペシャルサイエンスショーを開催する。	受託
	平日	体験活動等	市内の小学生の学習利用向けや一般団体向けにサイエンスショーを実施する。	受託
笑劇サイエンスショー	年1回	体験活動等	笑いのプロ「笑劇派」によるサイエンスショーを開催する(5日間×2回)。	受託

ワークショップ (初級・中級)	年17回	体験活動等	難易度に応じて「初級」・「中級」に分類し、2時間程度で科学やものづくりの楽しさを体験できる実験・工作教室を実施する。(1回を企業連携として「キッズ・モノづくりワンドーランド」を開催)	受託
サイエンスクラブ 初級コース	年6回	講座、 セミナー、 育成	小学3・4年生向けに、年間を通して、科学全般に関する実験・科学工作を行う。	受託
サイエンスクラブ 中級コース	年6回	講座、 セミナー、 育成	小学5・6年生向けに、年間を通して、科学全般に関する科学実験を中心とした講座を行う。	受託
サイエンススクール	通年	講座、 セミナー、 育成	中学・高校の科学部等に呼びかけ、年間を通じて学習会に参加し、その成果の発表の場として、サイエンスショーを実施する。	受託
サイエンステラス	年4回	体験活動等	科学・ものづくりに関わる大学等の教育機関や団体・個人の活動紹介や来館者との交流の場を提供する。	受託
事業支援者育成事業	通年	講座、 セミナー、 育成	天文分野、サイエンス・ものづくり分野の事業支援者の育成とサイエンスホール展示品の制作、活用を図る。	受託
喜楽亭茶会	年4回	体験活動等	季節ごとに特色ある茶会を開催し、喜楽亭の利用促進を図る。	受託
喜楽講座 I 「喜楽亭の魅力と建物散策」	年1回	講座、 セミナー、 育成	喜楽亭の周辺の散策、喜楽亭の専門家による見どころ紹介、喜楽亭のペーパークラフトの製作体験を行う。	受託
喜楽講座 II 「親子向けワークショップ」	年2回	体験活動等	とよた科学体験館のノウハウを生かした親子向けのワークショップを開催する。	受託

利用予定

施設名	件数	人数	利用内容
小ホール	270	34,500	講演会・発表会
多目的ホール	360	40,900	展示会・研修会・パーティー等
プラネタリウム	760	47,000	学習投映・一般投映等
サイエンスホール	310	133,300	学習見学・一般見学等
喜楽亭	200	6,000	茶会・講座等
その他	6,200	168,300	中日文化センター等
計	8,100	430,000	

9 放課後児童クラブ

財団の基本方針の一つである、青少年の健全な育成の推進を図ることを目的とし、平成29年度は、新たに開設される御蔵小学校をはじめ、業務委託を受ける北東部ブロック（旭、足助、小原、下山、藤岡地区）の13の小学校に設置されている各放課後児童クラブの運営を行います。また、萩野小学校（足助地区）の児童クラブ参加希望者には、拠点校放課後児童クラブ（足助小学校）へ児童を移送するサービスを継続して実施します。

さらに、飯野小学校の空き教室を使った飯野地区子どもの居場所づくり事業を継続して行います。

■施設運営

放課後児童クラブでは従来の運営に加えて、当財団の強みである「文化芸術振興」、「青少年健全育成」、「科学体験やものづくり」、「地域の人材資源の活用」などのノウハウを活かし、子どもたちに様々な体験活動や事業を提供します。子どもの居場所づくり事業では、子どもたちの主体的な活動を通して、異年齢・異世代交流を深めることができるように、安全・安心な環境づくりに配慮します。

参加予定

施 設 名	通常人数	夏休み人数
飯野 小学校（藤岡中央児童クラブ）	29	50
石畠 小学校（藤岡北部児童クラブ）	22	47
中山 小学校（藤岡南部児童クラブ）	117	162
本城 小学校（おばらっこクラブ）	12	28
足助 小学校（あすっこクラブ）	17	33
新盛 小学校（げんきっこ）	3	14
則定 小学校（よつば）	4	30
明和 小学校（あかだわクラブ）	5	5
花山 小学校（花山クラブ）	17	38
小渡 小学校（コッキーズ）	11	15
敷島 小学校（キラキラ）	5	11
巴ヶ丘小学校（ともえクラブ）	6	9
※御蔵 小学校	6	11
計	254	453

※平成29年度新規開設

10 交流館

「地域の実情に応じた地域づくりへの柔軟な支援」（基本方針）を実現するために「交流館管理運営基本取組項目」及び「交流館管理運営重点取組項目」を定めます。その中では、常に職員の人材育成を重視し、地域の人材をつなげ、市民の主体的な活動を促進するためにコーディネート力やファシリテート力の向上を目指します。そして、全ての交流館を市民から信頼される「まちづくり」、「人づくり」に必要な拠点にしていきます。同時に、事業の工夫や施設利用のPRを積極的に仕掛け、固定化傾向にある交流館利用に新たな人を呼び込み、利用の促進を図ります。

また、平成30年4月より交流館が大きく変わると方針が市から示されています。大きな転換期を迎え、従来にも増して、市民目線を大切にし、市民の信頼に応える運営を行うとともに、人づくりに貢献する事業を行います。

■事業

地域カルテを活用し、「地域の特性」「地域の現状・課題」「目指す地域の姿」「事業のねらい」を明確化することで、地域の実情にあった事業を展開します。職員のコーディネート力を発揮し、地域資源をつないだり、財団の強みを活かした新しい視点で魅力的な事業を実施します。

平成29年度は、住民が主体的に企画運営に関わる事業展開の促進を加え、新たな視点での事業企画や、柔軟な施設運営で「開かれた交流館」をアピールし、利用者の裾野の拡大を目指します。さらに、交流館を身近に感じてもらうことで、新たな連携や、新たな地域活動の担い手の育成につなげます。

■施設運営

市民が気軽に利用できる居心地のよい交流館となるよう、「おもてなしのこころ」や職員行動規範「輝くぶんしん職員の心得10か条」を基にした行動を実践し、より一層の市民サービスの向上を目指します。また、地域の住民が集う重要な拠点として、日常点検や施設巡回を徹底するなど安心・安全・快適に利用できる環境づくりを推進します。

平成29年度は、全職員が、トラブルや取扱いの事例の多い、音響機器の取扱いスキルの向上を図ります。

事業一覧

【生涯学習施設を活用して、生涯学習の機会と場を提供する事業】

○事業内容の区分：「講座、セミナー、育成」、「相談、助言」

事業区分：受託

交流館名	事業名	期日	内 容
逢妻	逢愛カフェ	5月～翌年 3月隔月	地域住民中心の講師が、カフェ、コンサート、ものづくりを行いながら、住民間の交流の場を提供する。
	夏休みチャレンジ 2017	夏休み期間	自主グループが子供も大人も参加できる体験講座を開催し、日頃の成果を生かす。
	健康講座	7月～9月	働いている女性を対象にした健康づくりのための運動講座を夜間に開催します。
	婚活クッキング	10月 ～12月	健康にも留意した調理をしながら、同世代の人との交流を深める
その他 13事業／総計 17事業			
旭	つくしんば	5月～ 翌年2月	子育て世代の親子が気軽に集い、情報を得たり同じ世代の仲間と出会うきっかけづくりとする。
	そらまめきっず	7月～8月	放課後児童クラブと連携し、地域の子ども達が体験を通して幅広く交流する。
	交流サロン 「あさひまるけ」	7月	ものづくりなどの体験を通して利用の促進を図り地域住民の交流の場を提供する。
	食に関する講座	12月～ 翌年1月	地産地食の促進と、高齢者の健康づくりのサポートについて考えるきっかけづくりをする。
その他 4事業／総計 8事業			
朝日丘	地域のたまり場づくり 「ひだまりサロン」	通年	くつろぎ、出会い、情報交換の場を提供して、人づくり、生きがいづくり、担い手づくりに努める。
	すくすく赤ちゃん こどり組	5月	子育て世代の情報交換や仲間づくりの機会を提供して、子育ての疑問解消と不安軽減を図る。
	夏休み講座 親子でつくっちゃおう	7月～8月	夏休みを利用してものづくりの楽しさを伝える。地域住民を講師とし、世代交流を図る。
	ヘルサポ共催事業 「子どもクッキング」	9月	クッキングを通して食の大切さを伝える。地域団体の活動を支援し生きがいづくりにつなげる。
その他 4事業／総計 8事業			

※事業区分について：受託－豊田市から委託を受けて実施する事業

足助	足助探訪	9月・10月	地域の歴史、文化を学習しながらその土地の魅力を再認識する機会とする。
	足助文化歴史講座 明日の足助を語ろう！	8月	足助高校生と地域住民が、世代間交流を図りながら足助の昔と今の文化歴史を学習し、未来を考える。
	夜のロビーコンサート	6月～8月 ・11月	足助の夜のイベント時に自主グループや地域団体に発表の場を提供する。
	初歩のノルディックウォーキング	4月・6月・ 9月・12月	旧あすけスポーツクラブ員を講師とし、ノルディックウォーキングを学び健康つくりを推進する。
	その他 8事業／総計 12事業		
井郷	ふらっといさとコンサート	4月・8月 ・11月	ロビーを活用し演奏を楽しみながら世代交流や交流館利用の促進を図る。募金カフェを開催する。
	いさとキッズタウン	1月	コミュニティ会議・地域の団体・商店の協力を得て子ども達による「こどものまち」を企画・運営する。
	園芸ボランティア養成講座	5月～6月	地域在住の園芸講師・元農林高校教師より園芸を学び、花壇作りボランティアを育成する。
	健康づくり講座	5月～6月	中高年を対象に口コモティブシンドローム対策と若さを保つ方法を学ぶ。
	その他 9事業／総計 13事業		
石野	ママトリズムごっこ	5月～7月	親子で遊びながらリズム感を養うと共に、同世代の親子で仲間作りをする。
	石野元気プロジェクトクリスマスコンサート	12月	音楽を通して地域住民の文化交流の場とする。中学生のボランティア活動のきっかけにする。
	映画「星めぐりの町」講演会	10月	映画の製作スタッフから石野の魅力を語って頂き、地域の良さを再発見する。
	石野地区防災講座	9月	地域と担い手である中学生が連携して、災害時に的確な判断と行動がとれる体制を学ぶ。
	その他 13事業／総計 17事業		
稻武	どんぐり広場	6月～11月	未就園児親子が楽しく過ごせる仲間づくりの場、情報交換の場を地域団体と協力し提供する。
	稻武の歴史を知る	5月～9月	郷土の歴史を学び、地域に関心をもち伝統文化を次世代に継承していく。
	すてき女性講座	6月～7月	女性が気軽に参加できる仲間づくりの場、活躍する場を提供し地域づくりへと繋げる。
	うたごえサロン	未定	誰もが気軽に参加できるサロンを開催し音楽の楽しさを伝えるとともに交流館の利用促進を図る。
	その他 4事業／総計 8事業		

梅坪台	交流サロン プチひなたぼっこ	4月～ 翌年3月	新しい趣味との出会いを支援し、異世代間交流を楽しみながら住民同士のつながりを築く。
	歌声サロン ひなたぼっこ	4月～ 翌年2月	歌を通しての生きがいづくり、仲間づくりとボランティアを地域の担い手づくりを推進する。
	子育て HOT サロン 梅坪台	5月～ 翌年3月	子育てに役立つ情報収集と学びの機会と位置付け、仲間づくりを支援して育児不安の軽減化を図る。
	わくわくチャレンジ プラス	7月・8月	夏休みに子どもとふれあいながら技術を教えることで、学びの成果を地域に還元する機会とする。
	その他 16事業／総計 20事業		
小原	キッズクラブ みんなでチャレンジ	5月～ 翌年2月	自然環境保護や地域講師との交流を通じて、地域への関心を深め、学区を越えた仲間づくりとする。
	おばらつきー組	5月～ 翌年3月	未就園児親子が、楽しく学びながら仲間づくりや情報交換のできる場とする。
	おばら魅力発見	6月・11月	小原の魅力を再発見し、自分の住む地域への愛着を深めるとともに、定住促進の一助とする。
	字でがみ	11月～ 12月	新たな地域講師の発掘と活躍の場を提供する。字でがみを通して、交流を深め仲間づくりをする。
	その他 6事業／総計 10事業		
上郷	kokoro つなぐカフェ	毎月	地域住民が気軽に交流館を利用することにより、人と人のつながりを深め、交流する場を提供する。
	上郷三期大学	7回	高齢者の仲間づくりや生きがいづくりのきっかけとする。地域の担い手育成へつなげる。
	Night Concert in KAMIGO	4回	コンサートを通して様々な世代の人に気軽に交流館に来てもらうことにより、新規利用者の開拓を図る。
	KAMIGOこどもの日	8月	中高生ボランティア及び地域活動団体の担い手育成を目的とした子ども向けのものづくり体験を行う。
	その他 3事業／総計 7事業		
猿投北	手軽で簡単、 おいしい薬膳料理	4月・7月 9月・11月	季節の食材を使い、家庭で簡単に作れる薬膳料理と、食に関する知識を学ぶ。
	ウォーキング	11月	歴史と文化を訪ねながらウォーキングをする。
	わくわくりズムで ABC	5月～7月	英語やリズム遊びを通して、親子のふれあいや子育て仲間との情報交換をする。
	ゴム銃を作ろう	7月	地域講師活躍の場を提供する。親子で工夫し、考えながら作り上げ、達成感・満足感を味わう。
	その他 12事業／総計 16事業		

猿投台	高齢者の居場所 猿投台楽笑サロン	通年	地域ボランティアグループとともに高齢者が気軽に集い、楽しく、笑顔があふれる交流の場を開催する。
	Happy 親子 フラダンス教室	5月	フラダンスを通じて、親子でスキンシップを図り、仲間づくりと新しい趣味の幅を広げる機会とする。
	はつらつ元気アップ 教室	6月～9月	脳トレやストレッチなどから高齢者の体力づくり、転倒予防、認知症予防につなげる。
	猿投台ふれあい コンサート	8月・12月	さまざまなジャンルの音楽を提供し、新たな交流館利用者を開拓する機会とする。
	その他 6事業／総計 10事業		
下山	地域活性化講座	通年	地域住民の声を反映させ、利用者と講師となる人材を発掘し、地域の活性化につなげる。
	夏休み子どもフェスタ	7月	放課後児童クラブと共に、防災をテーマに体験を通して、学区を越えた交流をする。
	中高生企画講座	7月～10月	ふれあいまつりで中高生がブースを企画・運営することで、地域活動への関心を高める。
	テストコース 工事見学会	8月	環境に配慮した工事の様子を見学し、下山の環境を考え、地域の現状を知る機会とする。
	その他 6事業／総計 10事業		
浄水	夜のコンサート	5月・9月 12月	コミュニティホール・エントランスホール等を活用し音楽を楽しむ。多くの人に交流館を知ってもらう。
	絵本の読み聞かせ 養成講座	6月	子育てサロン等で読み聞かせをするグループを養成する。
	中学生なりきり 部活☆フェス	2月	将来通う浄水中学校の部活を小学生が体験する。指導することで中学生は自己有用感を高める。
	やる気応援 自主グル ープをはじめましょう	通年	地域の人に〇〇を教えて！◇◇を教えて欲しい！の声をすくい、グループ活動ができるまで応援する。
	その他 9事業／総計 13事業		
末野原	ベビー講座 春秋	6月・7月 11月	初めての育児への不安を軽減するとともに、母親間の仲間づくりをする。
	チャレンジキッズ夏冬	8月・12月	子どもが学校以外の場所での体験活動を通して、地域の人と交流する。
	未就園児講座 にこにこきっず	6月・ 12月・ 翌年2月	親子遊びや季節の行事遊び、子育てに関する情報交換をする。
	末野原カフェ	5月～ 翌年3月	カフェを開催し、ものづくりやコンサート、健康づくりなど地域住民が交流できる居場所をつくる。
	その他 9事業／総計 13事業		

崇化館	崇化館居場所づくり プロジェクト	毎月19日 (月曜日休)	交流館ロビーを開放し、気軽に集まり学び相談できる場を提供することで、地域住民の居場所をつくる。
	なかよし大学	6月～ 翌年2月	高齢者が生涯現役を目指し、共に楽しく学ぶことで、仲間や生きがいを見つけるきっかけをつくる。
	陶芸	5月	館の特色である陶芸窯を活用し、地域住民にものづくりの楽しさを伝える。
	挙母祭りを知り、まちを きれいにしよう！	10月	挙母祭りや崇化館の歴史を学び郷土愛を育む。祭りの後、崇化館中学生と地域住民でゴミ拾いを行なう。
	その他	5事業／総計 9事業	
高橋	七夕のゆうべ	7月	地域の子どもたちが伝統文化にふれながら世代を越えての交流を楽しみ地域を大切に思う心を育む。
	輪・和サロン	通年	交流館利用者や地域住民のやりたい気持ちをつなげ、気軽に教え学びあう場を提供する。
	親子で わくわく生き物調査	7月	矢作川の支流を会場に親子で生き物調査を実施し、地域の自然環境への関心を高める。
	中学生が先生 夏休みものづくり体験	8月	中学校の文化部と連携し、中学生と小学生が物づくりを通して交流を図る。
	その他	6事業／総計 10事業	
藤岡	ジャズ HIPHOP ダンス	5月～6月	ダンスを通して仲間作りをする。交流館を活動の場とし、地域の小（高学年）中・高校生の利用を促す。
	お月見コンサート	9月9日	古民家を活用した弦楽器のコンサートを楽しむとともに新たな利用者の増加を図る。
	グラスアート	9月23日	ステンドグラスづくりをすることで、ものづくりを楽しむ。新たな利用者の増加を促す。
	陶芸 大人 親子	6月10日 7月2日	陶芸を通して交流を図る。また地場産業を知る機会とする。
	その他	12事業／総計 16事業	
藤岡南	防災講座	6月	地域の乳幼児を持つ世帯が地域と家庭での防災について学び考える機会とする。
	夏休みこども講座	夏休み期間	自主グループが小学生の体験指導を行い、楽しく交流を図る。
	レツツチャレンジ こども塾	7月・8月	英語の歌詞を理解しながら、曲に合わせてボディーパーカッションで音楽を楽しむ。
	英語で地域探検	通年	英単語を活用して地域の名所を探索し、楽しみながら英語を身近に感じてもらい、英語ガイドボランティアを目指す。
	その他	7事業／総計 11事業	

豊南	キッズカンパニー	6月～10月	地域団体やボランティアの協力を得て、こどもたちによる「カンパニー」を企画、運営する。
	陶芸	6月	豊南陶芸クラブ（自主グループ）を講師にし、陶芸教室を開催する。
	レディース＆ジェントルマン講座	未定	大人世代の未体験チャレンジを応援し、ワンランクステップアップを目指す。
	ハッピーアンファン	11月	ボランティア団体主導で子育て世代の親子交流を図るイベントを共催する。
	その他 4事業／総計 8事業		
保見	ベビー講座	8月～9月	初めて子育てをする世代のニーズに応え、子育て支援と母親間の仲間づくりをする。
	ほみっこ夏チャレンジ	8月	自主グループが学習した成果を活かして、小学生に向けた体験と交流の場を提供する。
	男性向け料理教室	11月～12月	健康で豊かな食生活を送れることを目的とした中高年男性向けの調理講座を開催する。
	世界の食文化	1～3月	国際色豊かな地域性を活かし、国際料理を学び、伝統や文化に触れる機会とする。
	その他 8事業／総計 12事業		
前林	子育て応援講座	5月～12月	未就園児親子を対象に、年齢別で子育てに関する知識を学び、育児不安の軽減を図る。
	地域交流の場 ほっこりサロン	通年	ものづくりやミニイベントを通して気軽な交流の場の提供とする。担い手づくりの場として活用する。
	アウトリーチ前林	随時	交流館から遠隔な自治区にて出前講座を実施。講座内容は自治区と共に企画し、計画・運営する。
	地域団体交流会 「縁・ゆかり」	6月～8月	現在交流館で活躍している地域団体同士の情報交換を行い交流し、新たな事業実施を目指す。
	その他 16事業／総計 20事業		
益富	ますとみ大人塾 「リラックス・ヨガ」	時期未定 (4回予定)	ヨガを通して、シニア世代の生きがいづくり、仲間づくりの場を提供する。
	おおきなおへやで おもいっきりあそぼう！	5月～11月 翌年1月～2月	子育てセンターが中心となり運営。ふだん家庭ではできない遊びを自由に楽しむ。
	益富のホタル①②③ (小学校出前講座)	5月～ 翌年2月	五ヶ丘(4回)・古瀬間(1回)・五ヶ丘東(1回)実施。飼育学習を通して生き物を大切にする心を育む。
	ますとみ ゆるやかネットワーク	年間	情報交換による地域活性化を目指し交流を図る。 【全体会・世話人会(10回)・広報誌発行(3回)】
	その他 5事業／総計 9事業		

松平	葵☆サロンコンサート	5月～ 翌年2月	楽器の生の演奏やモノづくりのプチ体験、カフェ等を通して、地域交流する場を提供する。
	松平いいこと検定	7月	地域の自然環境や歴史を学び、地域への愛着を育む。担い手づくりにつなげる。
	子どもの日	5月～12月	地域の未就園児親子が、季節行事や体を使った遊び等を通じて、交流を図る。
	美と健康フェスティバル	8月	民間事業者や地域団体、高校等と連携して、美と健康イベントを開催し、地域の活性化を図る。
	その他 9事業／総計 13事業		
美里	ロビーコンサート	5月～ 翌年2月	地域住民と共に企画をし、自主グループや音楽家によるコンサートを開催する。
	イクジイの育児講座	10月～ 12月	シニア世代に子育て支援を通して、生きがい作りや交流の場を提供する。
	未就園児の親子講座	7月～ 翌年2月	地域住民と共に企画をし、子育ての不安解消と仲間作りをする。
	ランニング講座	7月～11月	豊田マラソン完走を目指して、ランニングのコツを学ぶ。
	その他 12事業／総計 16事業		
竜神	サンデーサロン	年4回	地域の運営委員が主体となり、身近なところで文化教養に触れる機会を提供する。
	子どもフェスタ	8月	子どもスタッフを募り、子どもが主体的にイベントを企画運営する。青少年育成部会と共に。
	夜ゼミ「ウォーキング基礎講座」	春・秋	ウォーキングの基礎を学び、竜神地域をウォーキングする。
	寿大学	6月～12月	生きがいづくりや交流の機会を提供し、高齢者の社会参加を促進する。
	その他 6事業／総計 10事業		
若園	中花吉（なかよし）サロン	4月～ 翌年3月	ロビーを活用して、地域や世代を越えてふれあえる交流サロンを地域住民とつくる。
	若園 茶摘み体験	5月	茶摘み体験や製茶工場の見学を通して、若園地域のお茶に親しみを持ち理解を深める。
	若園中学校共催 ウエルカム・ベビー 中学生と赤ちゃんの ふれあい体験	6月8日 ・22日	乳児親子交流会、ふれあい体験を通して、子育て支援や命の大切さを知る機会をつくる。
	若園 こどもまつり	8月	小学生を対象に季節行事遊びや、ものづくり体験の場をつくり、利用の拡大や異世代交流を図る。
	その他 8事業／総計 12事業		

若林	わかばやしカフェ	毎月第2・3・4金曜日	自主グループ、地域団体との連携を図りながら地域住民交流の場とする。
	高齢者教室 縁ジョイ☆シニア塾	5月～ 翌年2月	高齢者が学びの中から生きがいや興味をみつける機会を提供し、交流を図る。
	わくわくチャレンジランド	夏休み期間	小学生が普段やれないことを体験しながら、地域の大人や異学年の子と交流を図る。
	ほんわか子育て 一もこもこくらぶー	4月～ 翌年3月	親子で楽しんで交流できる場の提供と育児負担の軽減を図る。
	その他 10事業／総計 14事業		

利用予定

施設名	件数	人数	利用内容
逢妻交流館	会議室等	3,000	会議・研修・講座・調理実習など
	図書室	48,000冊	図書の貸出し
	その他	—	個人利用
旭交流館	会議室等	1,000	会議・研修・講座など
	図書室	8,000冊	図書の貸出し
	その他	—	個人利用
朝日丘交流館	会議室等	6,500	会議・研修・講座・調理実習など
	図書室	70,000冊	図書の貸出し
	その他	—	個人利用
足助交流館	会議室等	2,500	会議・研修・講座など
	図書室	15,000冊	図書の貸出し
	その他	—	個人利用
トレーニングセンター他 体育施設	1,400	27,000	グラウンド・テニスコート・体育館 利用等
井郷交流館	会議室等	5,000	会議・研修・講座など
	図書室	155,000冊	図書の貸出し
	その他	—	個人利用
体育施設	1,800	45,000	体育館・武道場
石野交流館	会議室等	1,750	会議・研修・講座・調理実習など
	図書室	14,000冊	図書の貸出し
	その他	—	個人利用
石野運動広場	500	18,000	グラウンド利用
稲武交流館	会議室等	800	会議・研修・講座など
	図書室	6,000冊	図書の貸出し
	その他	—	個人利用

梅坪台交流館	会議室等	5,000	61,000	会議・研修・講座・調理実習など
	図書室	54,000 冊	14,000	図書の貸出し
	その他	—	53,000	個人利用
小原交流館	会議室等	2,000	33,000	会議・研修・講座など
	図書室	14,000 冊	3,000	図書の貸出し
	その他	—	16,000	個人利用
上郷交流館	会議室等	6,000	90,000	会議・研修・講座・調理実習など
	図書室	170,000 冊	34,000	図書の貸出し
	その他	—	175,000	個人利用
上郷公園		950	20,000	グラウンド利用
猿投北交流館	会議室等	1,800	21,000	会議・研修・講座・調理実習など
	図書室	19,000 冊	5,000	図書の貸出し
	その他	—	33,000	個人利用
猿投台交流館	会議室等	3,000	33,000	会議・研修・講座・調理実習など
	図書室	39,000 冊	10,000	図書の貸出し
	その他	—	35,000	個人利用
下山交流館	会議室等	1,100	8,000	会議・研修・講座など
	図書室	12,000 冊	3,100	図書の貸出し
	その他	—	14,000	個人利用
浄水交流館 ※ 1 時間貸	会議室等	6,000	85,000	会議・研修・講座・調理実習など
	図書室	70,000 冊	14,000	図書の貸出し
	その他	—	55,000	個人利用
末野原交流館	会議室等	4,500	58,000	会議・研修・講座・調理実習など
	図書室	86,000 冊	20,000	図書の貸出し
	その他	—	55,000	個人利用
末野原運動広場		900	30,000	グラウンド利用
崇化館交流館	会議室等	8,000	90,000	会議・研修・講座・調理実習など
	図書室	40,000 冊	9,000	図書の貸出し
	その他	—	61,000	個人利用
高橋交流館	会議室等	3,600	60,000	会議・研修・講座・調理実習など
	図書室	45,000 冊	10,000	図書の貸出し
	その他	—	55,000	個人利用
高橋運動広場		900	7,000	テニスコート・ゲートボール場利用
藤岡交流館	会議室等	2,400	22,000	会議・研修・講座など
	図書室	16,000 冊	5,000	図書の貸出し
	その他	—	40,000	個人利用

藤岡南交流館	会議室等	1,600	20,000	会議・研修・講座など
	図書室	21,000 冊	4,000	図書の貸出し
	その他	—	18,000	個人利用
豊南交流館	会議室等	4,500	62,000	会議・研修・講座・調理実習など
	図書室	100,000 冊	25,000	図書の貸出し
	その他	—	120,000	個人利用
保見交流館	会議室等	4,500	65,000	会議・研修・講座・調理実習など
	図書室	150,000 冊	33,000	図書の貸出し
	その他	—	22,000	個人利用
保見運動広場		1,800	32,000	グラウンド、テニスコート利用
前林交流館	会議室等	2,700	33,000	会議・研修・講座・調理実習など
	図書室	17,000 冊	4,300	図書の貸出し
	その他	—	27,000	個人利用
益富交流館	会議室等	3,450	43,500	会議・研修・講座・調理実習など
	図書室	41,000 冊	11,000	図書の貸出し
	その他	—	37,000	個人利用
松平交流館	会議室等	3,200	40,000	会議・研修・講座・調理実習など
	図書室	41,000 冊	9,000	図書の貸出し
	その他	—	43,000	個人利用
松平運動広場		600	18,500	グラウンド利用
美里交流館	会議室等	5,000	56,000	会議・研修・講座・調理実習など
	図書室	40,000 冊	9,000	図書の貸出し
	その他	—	42,000	個人利用
竜神交流館	会議室等	4,000	65,000	会議・研修・講座・調理実習など
	図書室	82,500 冊	17,000	図書の貸出し
	その他	—	54,500	個人利用
土橋公園		1,500	21,000	グラウンド・テニスコート利用
若園交流館	会議室等	2,700	36,000	会議・研修・講座・調理実習など
	図書室	33,000 冊	9,000	図書の貸出し
	その他	—	28,000	個人利用
若林交流館	会議室等	3,900	57,000	会議・研修・講座・調理実習など
	図書室	71,000 冊	16,500	図書の貸出し
	その他	—	28,000	個人利用

1.1 教職員会館

教育関係職員等の研究・研修活動の拠点施設として、教育文化の振興に寄与することを目的とします。テニスコートにおいては、広く市民に開放し、体力の維持・増進とコミュニケーションづくりに貢献できるよう、より質の高いサービスの提供を目指します。また、安全・安心で効果的な施設運営を行うとともに施設の認知度を高め、利用の増加を図ります。

■施設運営

職員の創意と工夫により、快適な環境づくりに努め、研究・研修施設としての役割の充実と利用率の向上を図るとともに、利用者ニーズを的確に把握し、柔軟な対応により利用者満足度（C S）の向上を目指します。また、経費の削減に取り組む一方、安全管理に対しては職員一人ひとりが知恵を出し合い、信頼される施設運営を行います。

利用予定

施 設 名	件 数	人 数	利 用 内 容
会議室等	2,400	45,000	会議・研修会等
テニスコート等	700	4,000	テニス
計	3,100	49,000	